

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-10

<第50週> 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加している / その他最新動向

<11月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.11-14

<インフルエンザ> インフルエンザ対策の基本は予防と適切な診断・治療である

<先天性風しん症候群と風しん> 先天性風しん症候群は、本年は第50週までに合計9例の報告となっている



病原体情報
P.15-16

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.17

埼玉県におけるA/H1N1型インフルエンザウイルスの分離



海外感染症情報
P.18

コンゴ民主共和国(キンシャサ)での腸チフス流行



感染症の話
P.19-23

<デング熱> 現在日本国内での感染はないが、海外旅行で感染して国内で発症する例がある



読者のコーナー
<今週は該当記事はありません>



グラフ総覧(50週)
P.24-30



グラフ総覧(11月)
P.31-35



11月のデータ
P.36-39



50週のデータ
P.40-49



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第50週コメント > 12月16日集計分

全数報告の感染症

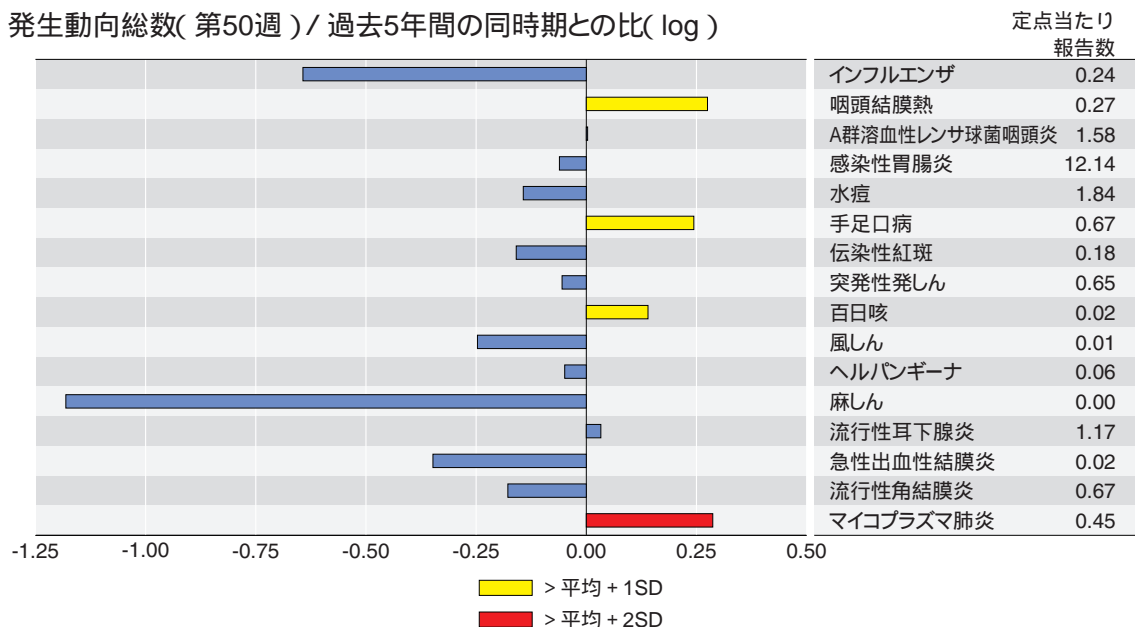
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 11例(推定感染地域: 国内5例、インドネシア2例、インド2例、エジプト1例、タイ/カンボジア1例)
 - パラチフス 3例(推定感染地域: 中国1例、インド1例、ネパール1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 23例(うち有症者16例)
 - 報告の多い都道府県: 秋田県(4例)、大阪府(4例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(7例)、O26 VT1(5例)、O157 VT2(4例)、O26 VT1・VT2(1例)、その他(6例)
 - 年齢: 10歳未満(7例)、10代(2例)、20代(4例)、30代(4例)、40代(1例)、60代(3例)、70歳以上(2例)
 - 4類感染症: つつが虫病 17例(千葉県2例、神奈川県2例、新潟県2例、広島県2例、鹿児島県2例、福島県1例、茨城県1例、栃木県1例、東京都1例、岡山県1例、長崎県1例、宮崎県1例)
 - 日本紅斑熱 1例(高知県)
 - マラリア 1例(三日熱_推定感染地域: インドネシア)
 - レジオネラ症 2例(60代1例、70代1例)
 - E型肝炎 1例(推定感染地域: 国内/中国 . 推定感染源: シカ生肉/牛生レバー)
 - A型肝炎 3例(推定感染地域: 国内2例、中国(香港)1例)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例
 - 推定感染地域: 国内6例、ブラジル1例
 - 推定感染経路: 経口3例、性的接触(同性間)2例、不明2例
 - ウイルス性肝炎 2例(とともにC型_推定感染経路: 針刺し事故1例、不明1例)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群)
 - 後天性免疫不全症候群 11例(無症候7例、AIDS 4例)
 - 推定感染経路: 性的接触8例(異性間1例、同性間6例、異性間/同性間1例)、不明3例
 - 推定感染地域: 国内9例、不明2例
 - 梅毒 6例(早期顕症11期4例、無症候2例)
 - 破傷風 2例(とともに50代)
- (補)他に、細菌性赤痢2例、梅毒2例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、先天性風しん症候群1例、急性脳炎4例[単純ヘルペスウイルス2例(20代1例、60代1例)、インフルエンザウイルスAH3 1例(2歳)、病原体不明1例(30代)]の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第50週) / 過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患 : インフルエンザの定点当たり報告数は引き続き増加しているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)との比較では低いレベルにある。都道府県別では宮城県(2.0)、岡山県(1.6)、群馬県(1.4)で、今シーズン初めて1.0を超えた。

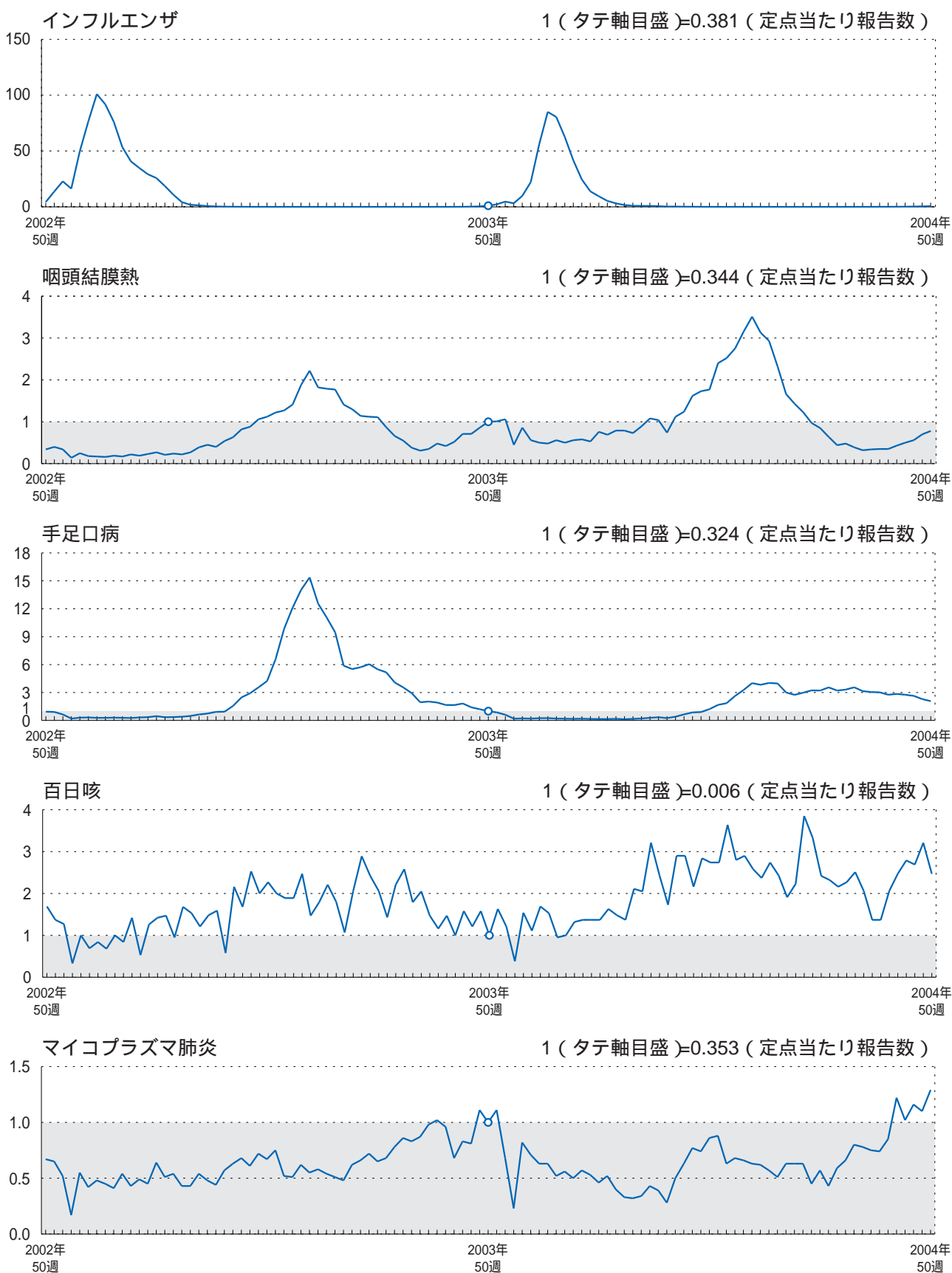
*47ページデータ表の宮城県(2.2)は 2.0 に修正される予定。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第29週に最高値を記録した後は減少し、前年と同様に第42週に最低値となり、その後再び増加してきている。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では佐賀県(1.2) 北海道(1.1)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第35週以降は増加傾向にあり、第50週も前週に引き続いて増加した。都道府県別では、山形県(3.6) 大分県(3.4)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週から増加し、第48週以降その増加速度は大きくなっている。都道府県別では福岡県(23.4)が最も多く、次いで大分県(21.2) 埼玉県(19.5)が多い。水痘の定点当たり報告数は、第42週以降増加していたが、第50週は横ばいとなった。都道府県別では和歌山県(3.8) 宮崎県(3.6)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週まで緩やかに増加した後、微減あるいは横ばい状態が続いている。しかし、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では香川県(3.1)と石川県(2.1)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減したが、第48週以降は過去5年間の同時期と比較してやや多い状態が続いている。都道府県別では栃木県(0.13)と福井県(0.09)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微増し、2004年では最多となっている。都道府県別では福井県(6.9) 佐賀県(4.0)が多い。6歳以下の報告数が全体の77%を占めている。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて43都道府県から855例の報告があり、第49週よりさらに増加した。1歳未満の報告数が全体の81%に達している。都道府県別では福島県(84例) 広島県(83例)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、感染症法施行以降の最高値を更新した。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では埼玉県(1.8) 山口県(1.7)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第50週)

2003年第50週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



11月コメント

性感染症について(12月9日集計分) 性感染症定点数: 925

2004年11月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.14(男1.39、女1.75)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.84(男0.33、女0.52)、尖圭コンジローマが0.59(男0.33、女0.27)、淋菌感染症が1.46(男1.22、女0.23)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べ、横ばいまたは減少傾向を示すものが多い(31~34ページグラフ総覧参照)。過去5年間の同時期と比較すると、平均 - 1標準偏差(SD)を下回ったものが、男性では性器ヘルペスウイルス感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症であった。一方、尖圭コンジローマでは、男女ともに平均 + 1SDを上回った。(図2)

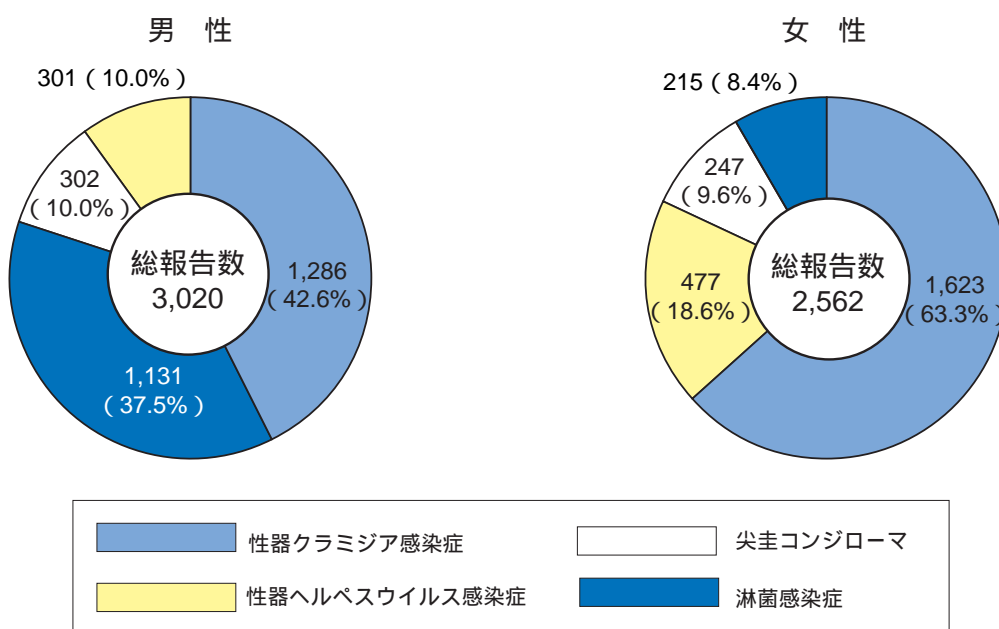
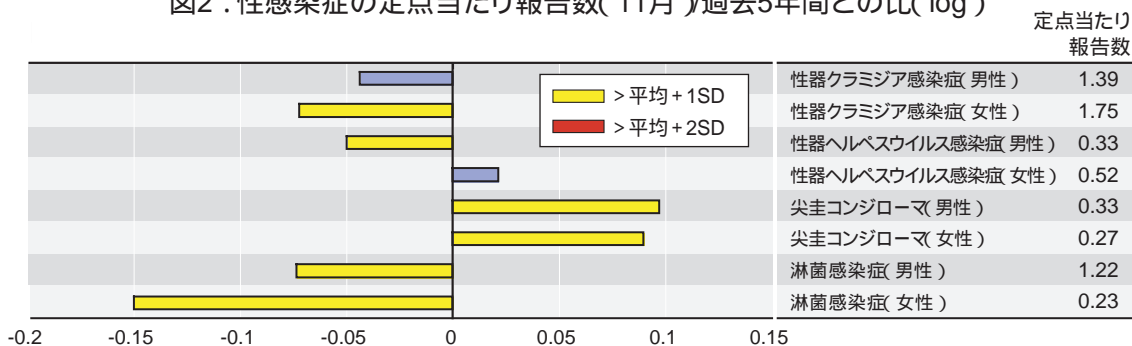


図1 . 各性感染症が総報告数に占める割合(11月)

図2 . 性感染症の定点当たり報告数(11月)過去5年間との比(log)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3)、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少ない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。女性の性器ヘルペスウイルス感染症以外は、減少または横ばいが続いている。

注：本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報) 4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(11月)

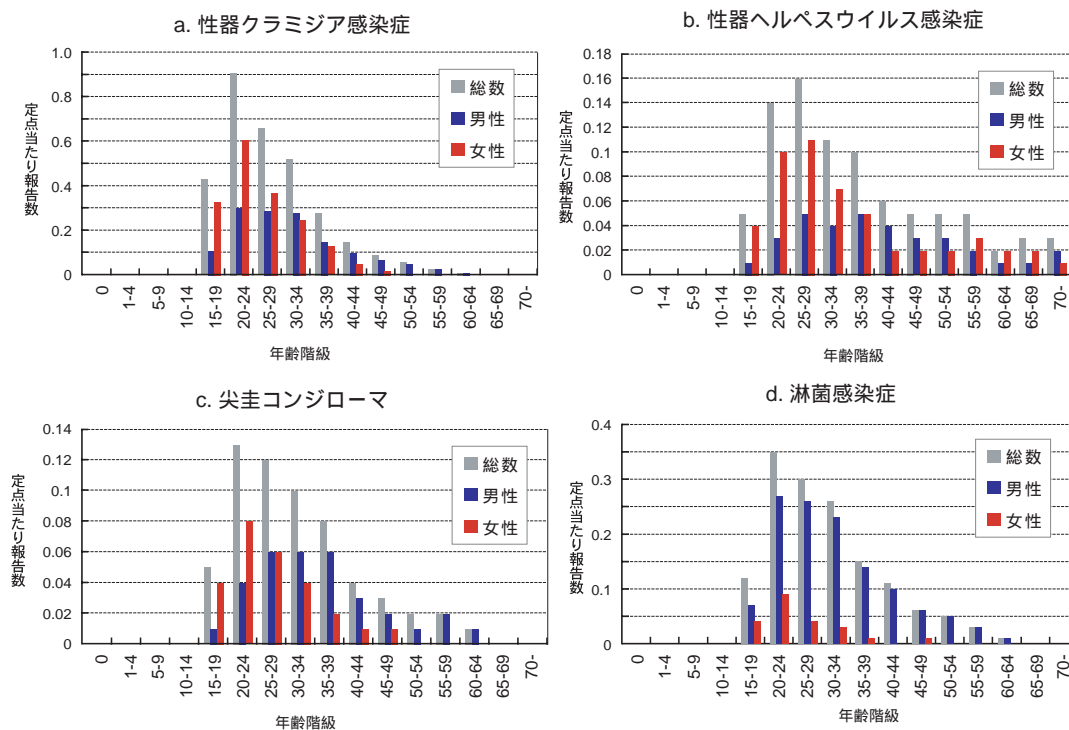
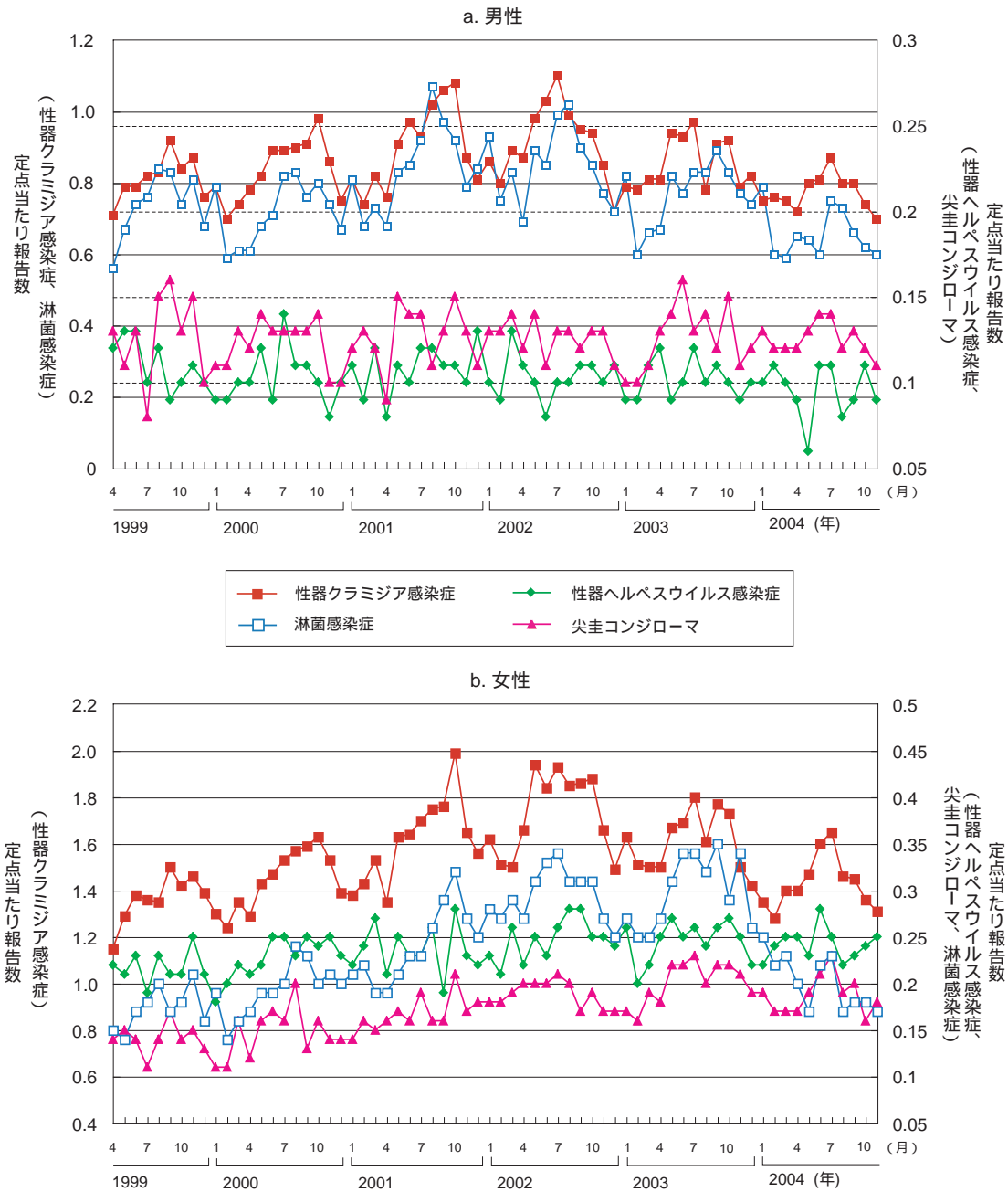


図4 . 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数 (15 ~ 29歳)



薬剤耐性菌感染症について(12月9日集計分)

11月の定点(基幹定点)総数 : 471

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.74(前月: 3.64、前年同月: 3.57)

例年、年間を通してほぼ一定である。2004年では11月は微増し、過去5年間の同月との比較では、最も多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.45(前月: 1.02、前年同月: 1.35)

例年、春から初夏にかけて(4~6月)と冬(11、12月)に多く推移していた。2004年は1月から6月までほぼ一定で推移し、7月からは過去と同様に、9月まで減少し、10月以降増加を示している。過去5年間の同月との比較では、最も多かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.11(前月: 0.13、前年同月: 0.12)

例年、年の前半が後半に比してわずかに少ないが、年間を通じてほぼ一定である。2004年では6~8月まで増加が続いていたが、9月は減少、10月は微増し、11月は減少した。過去5年間の同月との比較では2001~2003年の過去3年間の値に近かった。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の69%(70歳以上が60%)を占めている(図1)。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の71%(5歳未満が65%)を占めている。また高齢者にもやや多く、65歳以上が全体の18%(70歳以上が15%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の70%(70歳以上が66%)を占めている(図3)。

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.8/1

PRSP感染症...1.2/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.8/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は富山県(9.6)、山口県(8.1)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(13.8)、富山県(11.4)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は富山県(0.6)、山梨県(0.6)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

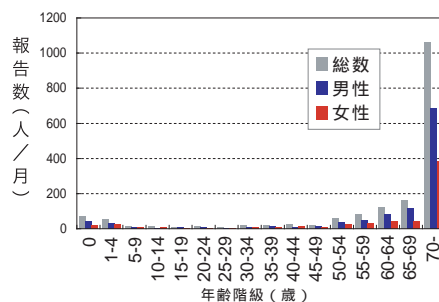


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

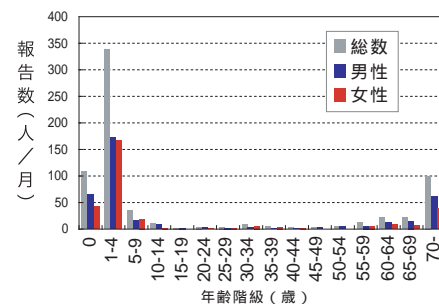
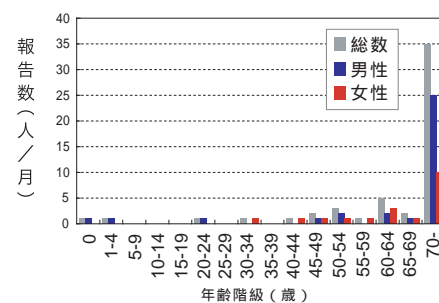


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(12月22日集計分)

11月の新登録患者数は2,322人(男性1,453人、女性869人)で、このうち活動性肺結核患者は1,883人(うち喀痰塗抹陽性者は858人)であった。

都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(304人)、大阪府(大阪市を除く) (132人)、大阪市(124人)、埼玉県(さいたま市を除く) (107人)、千葉県(千葉市を除く) (87人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は318人、非定型抗酸菌陽性者数は259人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、9月15日に、2003年の結核発生動向調査年報が出されました。詳しくは、結核研究所ホームページ(<http://www.jata.or.jp>)でご覧下さい。



注目すべき感染症

インフルエンザ

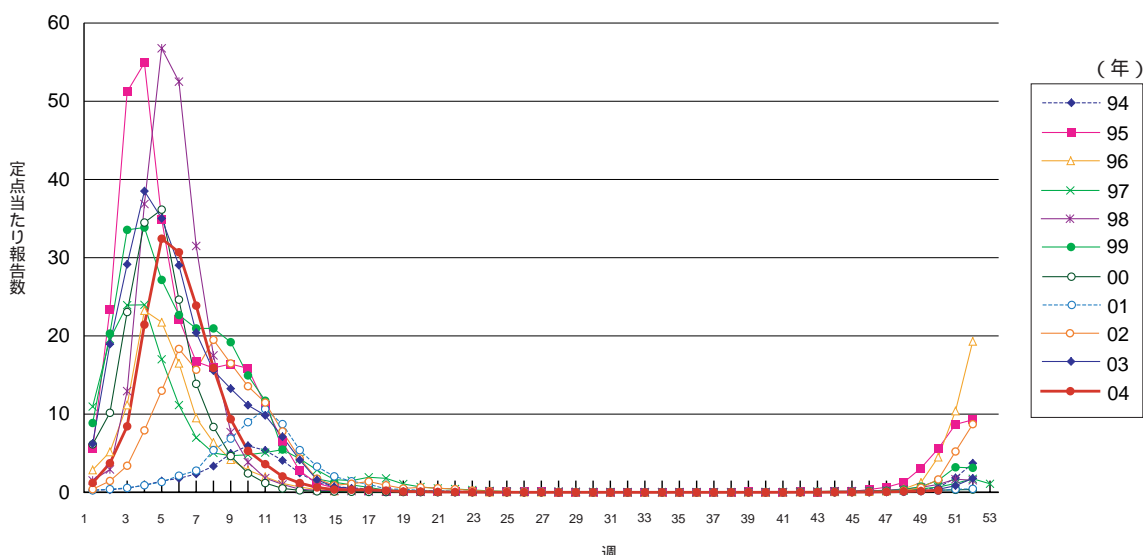
2004年10月初旬に早くも大阪の小学校においてAH3型インフルエンザウイルスの感染流行による学級閉鎖の報告があり、今シーズンにおけるインフルエンザの早期流行が危惧されたが、暖冬のためか定点当たり報告数は第50週現在0.24であり、まだ本格的な流行が始まっている状況ではない。しかしながら、定点当たり報告数が宮城県(2.0)、岡山県(1.6)、群馬県(1.4)と、今シーズンにおいて初めて1.0を超える都道府県が複数認められた。

今シーズンこれまでに分離されたインフルエンザウイルスはAH3型が中心であるが、AH1型、B型の報告もみられている(本号「病原体情報」参照)。

インフルエンザウイルスの感染力は強く、ほぼ毎年2月をピークとするインフルエンザの流行が認められている(図)。そして流行の度にインフルエンザ罹患による高齢者の超過死亡が問題となり、加えて乳幼児を中心とした小児ではインフルエンザ脳症の発生が報告されている。

インフルエンザ対策の基本は予防と適切な診断・治療である。インフルエンザ迅速診断キットや抗インフルエンザ薬の普及により、ここ数年間で臨床現場におけるインフルエンザの診断精度や治療方法は大きく変化した。しかし、最も重要なことは予防であり、中でも予防接種が中心となる。例年、インフルエンザ流行の主流を占めるのはAH3型であるが、今シーズン分離されているAH3型ウイルスは、今のところ、今シーズンから変更されたワクチン株であるA/Wyoming/3/2003と抗原性はほぼ一致している。しかしながら、このウイルス株に対する抗体保有率は0~4歳群および成人層では低いといわれている(2004/2005シーズン インフルエンザHI抗体保有状況調査速報 第2報参照)。全国的な流行が始まる前に、接種が必要な方はワクチンを受けておくことが勧められる。

図. インフルエンザの週別発生状況(1994年 ~ 2004年50週現在)



先天性風しん症候群と風しん

先天性風しん症候群 (CRS) は、1999年4月の感染症法の施行により全数把握疾患となったが、1999年には報告がなく、2000～2003年は各1例であった。しかし、本年は第9～25週に5例、第40週に1例、第41週に2例、第50週に1例の報告があり、合計9例の報告となっている(表1)。

CRSは、妊婦が妊娠前半期に感染することによって出生児に起きる疾患で、感音性難聴、白内障または緑内障、心疾患を3主徴とする。妊娠中に感染しても必ずしもCRSが起こるわけではないが、母親が顕性感染した場合の妊娠月別の発生頻度は、妊娠1カ月50%以上、2カ月35%、3カ月18%、4カ月8%とされている。

CRSを防ぐため、風しんの罹患歴や予防接種歴がなく、妊娠を希望するあるいはその可能性のある女性は、妊娠する以前に予防接種を受けておくことが重要である。予防接種は、風しんとCRSを予防するための最大の手段と言える。しかし、これまでに報告された13例の母親の予防接種歴をみると、「なし」が5名、「不明」が5名であったが、「あり」が3名みられ、そのうち1例では母子手帳に記載されていた。このように稀には、確実に予防接種歴があっても十分な免疫が獲得されていないこともある。また、風しんに類似した発熱と発疹の出る疾患は他にもあり、誤診を招きやすいので、罹患歴にも注意が必要である。このようなことから、場合により妊娠前に抗体検査を行うことも必要と考えられる。

全国約3,000カ所の小児科定点からの報告数による、本年の風しんの流行状況をみると、2004年第50週までの累積定点当たり報告数は、2000年以降の各1年間の累積報告数を上回っている(表2)。また、小児科を標榜する小児科定点医療機関からの報告によるにも関わらず、本年の第50週までの累積報告数では20歳以上の占める割合が約13%を占めており、風しんが決して子どもに限った病気でないことがわかる。また、20歳以上の報告数においては男性が女性よりも多く(図)、成人男性から妊婦への感染も懸念される。

表1. 先天性風しん症候群の報告(2004年第50週現在)

年	都道府県	性別	母の予防接種歴
2000	大阪	女	なし
2001	宮崎	女	不明
2002	岡山	男	不明
2003	広島	女	なし
2004	岡山	女	不明
	東京	女	不明
	岡山	女	あり(母子手帳に記載)
	東京	男	なし
	東京	女	なし
	鹿児島	女	あり(本人の記憶)
	神奈川	男	あり(本人の記憶)
	熊本	男	なし
	長野	女	不明

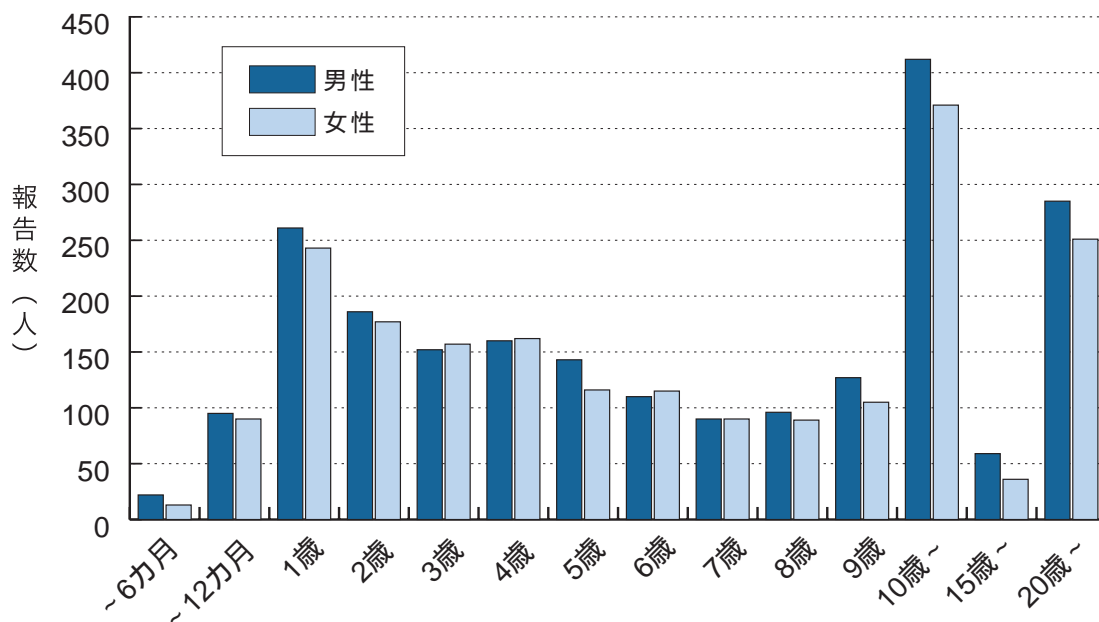
妊婦の感染を防いでCRSの発生を防ぐためには、夫や子ども、同居家族など妊婦の周囲の人々が予防接種を受けることも重要であり、さらには、定期接種の対象者だけでなく、小児から成人まで、男女ともに免疫のない人々は予防接種を受け、社会全体で風しんの流行そのものを確実に抑制することが強く望まれる。

表2. 風しんの年別報告数 (1999年4月 ~ 2004年第50週)

	総報告数	定点当たり報告数
1999年 (4月 ~)	2,972	1.03
2000年	3,123	1.05
2001年	2,561	0.85
2002年	2,971	0.98
2003年	2,795	0.92
2004年 (1 ~ 50週)	4,203 *	1.38 *

* 暫定値

図. 風しんの性別・年齢群別報告数(2004年第1 ~ 50週)



厚生労働省は、「風疹流行にともなう母児感染の予防対策構築に関する研究」班から提出された「風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言」(<http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/rec200408.pdf>)を受け、9月9日、風しん対策の強化について、全国の衛生主幹部局長あて通知(<http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/20040909.pdf>)を発出した。

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ(フォーカス：風疹、<http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/index.html>)には、「風疹Q&A」、「風疹予防接種説明書」、「わが国の風疹の現状とその対策 - 鹿児島県徳之島における風疹予防対策検討会議資料(ppt)」や、医療機関用の「風疹予防接種申込書・予診票」、「風疹予防接種に関するガイドライン」などを掲載している。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年12月17日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

AH3型27件(うち3件はPCRによる検出)、AH1型16件、B型14件の分離・検出が報告されている。

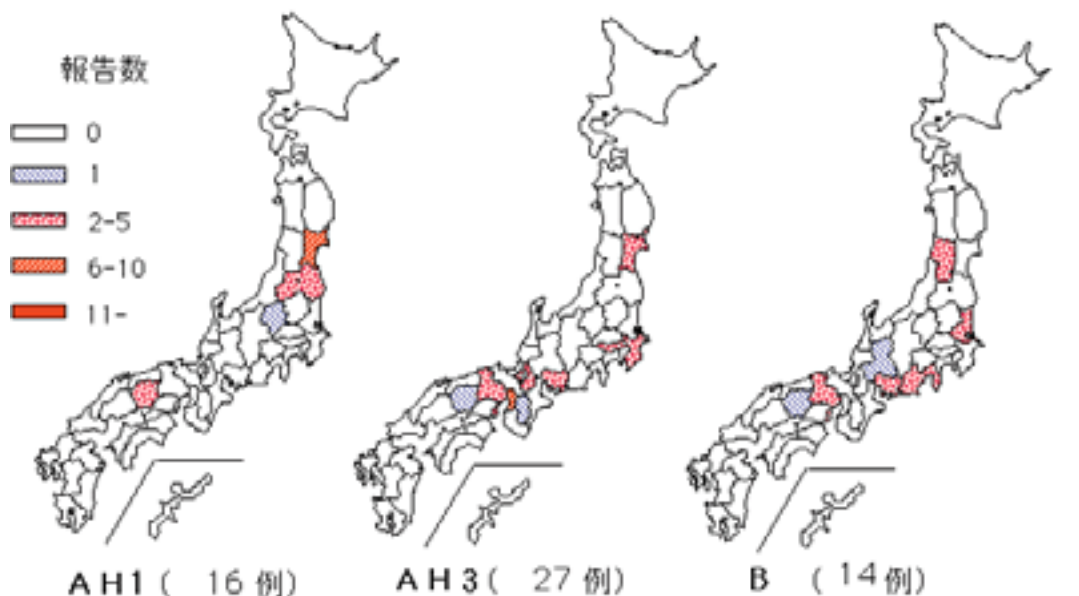
AH3型は9都府県(大阪府7、東京都5、兵庫県4、千葉県3、宮城県、愛知県、滋賀県各2、奈良県、岡山県各1)から報告されている。第36週に愛知県で海外渡航歴のある患者から分離が報告されて以降、第39週に大阪府、第42週に東京都、第44週に奈良県、第45週に岡山県、第47週に千葉県、兵庫県、第50週に宮城県、滋賀県からそれぞれ地域初の分離・検出が報告されている。第46週(11/8 ~)以降第50週までの週別報告数は3、0、12、0、1である。

AH1型は4県(宮城県6、福島県5、岡山県4、群馬県1)からの報告で、第46週に福島県、岡山県、第48週に宮城県、群馬県から報告された。第46 ~ 50週までの週別報告数は0、2、5、0、4である。

B型は7県(兵庫県4、山形県、茨城県、静岡県、愛知県各2、岐阜県、岡山県各1)からの報告で、第42週に山形県、第46週に茨城県、兵庫県、第47週に愛知県、第48週に岡山県、第50週に岐阜県、静岡県から、それぞれ地域初の分離・検出が報告されている。第46 ~ 50週までの週別報告数は6、2、1、0、3である。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報 : 2004年12月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

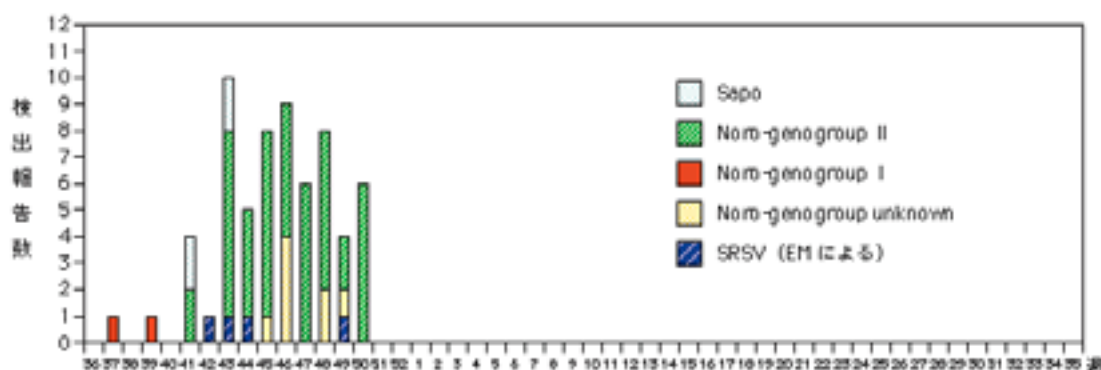


冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

小型球形ウイルス(SRSV)が63件報告されている。このうち、ノロウイルスgenogroup(G)IIが45件で、大阪府27(うち4件は第43週の小児集団発生事例;IDWR2004年第46号14ページ速報記事参照)、滋賀県7(第44~45週;すべて病院における集団発生事例)、岩手県4(第46週;台湾へのツアー帰国後に起きた集団発生事例)、東京都2(第41週)、福岡県2(第48週)、愛媛県1(第43週)、広島県1(第48週)、新潟県1(第50週)が報告されている。また、ノロウイルスGIが香川県(第37週)、愛媛県(第39週)から各1件、ノロウイルスG不明が8件(新潟県7、東京都1)、サポウイルスが三重県の小児散発例から4件(第41週2、第43週2)、電顕による検出が4件(広島県2、栃木県1、福岡県1)報告されている。

ロタウイルスは3件で、第43週に大阪府から1件、第45週に秋田県から1件、第48週に岩手県から1件が報告されており、いずれもA群である。

検出されたSRSVの内訳、2004/05シーズン (病原微生物検出情報: 2004年12月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を基に示した。





埼玉県におけるA/H1N1型インフルエンザウイルスの分離

埼玉県におけるA/H1N1型インフルエンザウイルスの分離について、以下に概要を報告する。

患者は39歳男性で、海外渡航歴、ワクチン接種歴はとみにない。2004年12月8日に発症して39の発熱があり、翌日に医療機関を受診した。インフルエンザウイルス迅速診断キットにてインフルエンザA型陽性反応が認められたため、型別確認のため、咽頭ぬぐい液が当所へ搬入された。

検体を接種したMDCK細胞は2日後に明瞭なCPEを呈し、0.5%七面鳥赤血球に対する培養上清のHA価は128に達した。感染研インフルエンザ室から配布された2004/05シーズン用HIキットを用いて、HI試験を実施したところ、A/Moscow/13/98(ホモ価1,280)に対して40、A/New Caledonia/20/99(同160)に対して320のHI価を示した。A/Wyoming/03/2003(同2,560)、B/Brisbane/32/2002(同1,280)、B/Johannesburg/5/99(同2,560)に対しては、< 10であった。また、RT-PCRによりNAの型別を試み、N1の増幅サイズのバンドを認めたので、分離ウイルスをH1N1であると判定した。

AH1型ウイルスの流行は2002/03および2003/04シーズンには認められておらず、全国でのウイルス分離数は2002/03シーズンは1株、2003/04シーズンは本県での分離2株を含めて5株が分離されたのみであった(感染症情報センター・IASRホームページ、2004年10月7日現在)。しかし、2004/05シーズンに入り、すでに岡山県および宮城県において合計9株が分離されており(感染症情報センター・IASRホームページ、2004年12月15日現在)、AH1型ウイルスが今シーズンにどのような動きをするのか、その動向に注意が必要である。

埼玉県衛生研究所ウイルス担当

島田慎一 篠原美千代 内田和江 瀬川由加里 土井りえ 菊池好則

(IASR2005年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

コンゴ民主共和国(キンシャサ)での腸チフス流行

WHO/Outbreak Report 2004年12月15日

WHOは、キンシャサで発生し、大規模で現在進行中の腸チフス流行の報告を受けた。

2004年5月に病原性大腸菌流行による深刻な被害を受けたKimbanseke, Kikimi, Masina、およびNdjiliの郊外で、複数の患者が発生した。

2004年12月13日現在、総計13,400名の患者が報告された。2004年10月1日から12月10日までに、死亡者134名を含む、穿孔または非穿孔の重症腹膜炎合併患者615名が発生した(致死率21.8%)。32検体中5検体で、チフス菌(*S. Typhi*)検査が陽性となった。

これらの地域からは衛生状態が非常に悪いことや、飲料水の欠乏が報告されている。流行を制圧するために危機管理委員会が設置され、この委員会が保健教育活動や医薬品の配布を実施している。



感染症の話

デング熱

ネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルスの感染症である。フラビウイルス科に属し、4種の血清型が存在する。非致死性の熱性疾患であるデング熱と、重症型のデング出血熱やデングショック症候群の二つの病態がある。

疫学

デングウイルス感染症がみられるのは、媒介する蚊の存在する熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国であるが、アフリカ、オーストラリア、中国、台湾においても発生している(図1、表1)。全世界では年間約1億人がデング熱を発症し、約25万人がデング出血熱を発症すると推定されている。近年の主な流行国における患者数は表1の如くであるが、過少報告がかなりあるものと推測される。現在日本国内での感染はないが、海外旅行で感染して国内で発症する例がある。

感染症法施行後の患者届出数は、1999年(4月 ~)9例、2000年18例、2001年50例、2002年52例、2003年32例である。わが国における輸入症例は、国立感染症研究所ウイルス第一部に検査依頼のあった症例数をみても増加傾向にある。年度ごとの変動は、日本人旅行者のよく行く流行地でのデング熱流行状況を反映するようである。

図1. デング熱・デング出血熱の発生地域(WHO、CDC資料より作製)

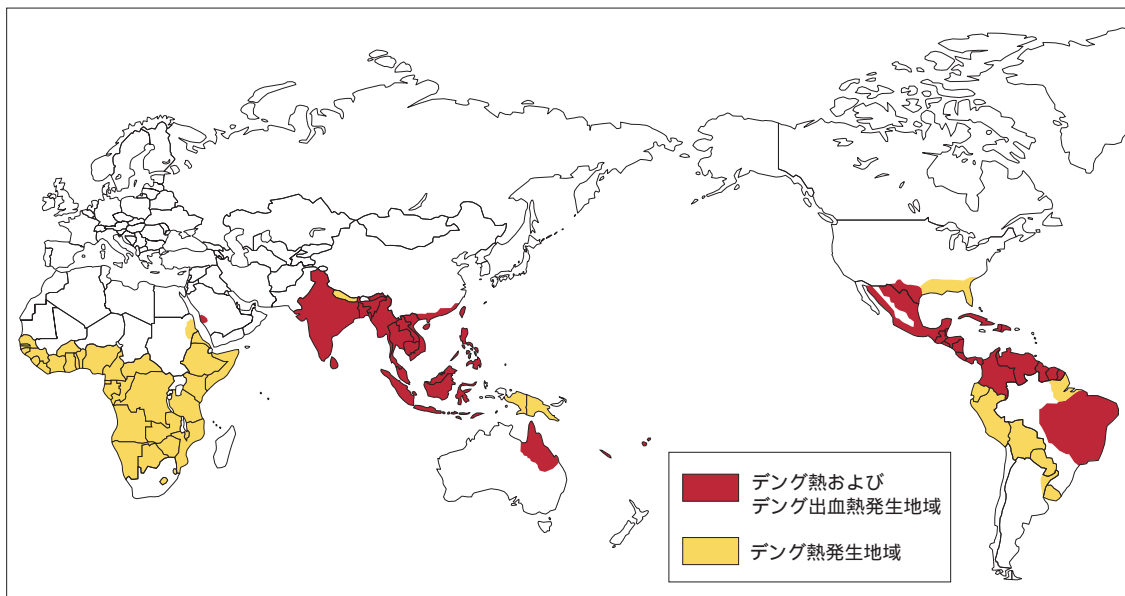


表1. 主な流行国におけるデング熱・デング出血熱患者の報告数

地域、国	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
アジア・オセアニア					
オーストラリア	558	181	231	178	168
カンボジア	16,216	1,530	3,148	10,265	1,007
インドネシア	72,133	14,651	28,564	19,868	
ラオス	7,671	2,507	137	3,817	1,720
マレーシア	27,381	10,146	7,103	16,368	
ミャンマー	8,978	5,828	1,816	6,087	
フィリピン	35,648	9,221	8,489	23,404	
シンガポール	5,183	1,355	673	2,372	
タイ	129,954	24,900	18,617	89,770	
ベトナム	234,866	20,861	24,116	41,337	1,336
インド	717	944	622	180	
スリランカ	1,275	1,688	3,343	2,911	
バングラデシュ	0	273	4,855	820	
台湾	1,336	1,108	854	1,120	15,221
中南米					
ブラジル	528,493	209,740	239,929	413,067	780,644
コロンビア	49,131	20,336	22,775	55,437	76,996
エクアドル	4,219	2,901	22,937	10,919	5,833
メキシコ	24,011	14,875	21,710	6,401	9,844
ニカラグア	14,024	11,150	7,317	2,104	2,157
ベネズエラ	43,309	29,404	21,101	83,180	37,676

病原体

デングウイルスは日本脳炎ウイルスと同じフラビウイルス科に属するウイルスで、やはり蚊(主にネッタイシマカ *Aedes aegypti*) によって媒介される。4つの血清型(1型、2型、3型、4型)に分類され、たとえば1型にかかった場合、1型に対しては終生免疫を獲得するとされるが、他の血清型に対する交叉防御免疫は数ヶ月で消失し、その後は他の型に感染しうる。この再感染時にデング出血熱になる確率が高くなると言われている。そのため、型別も含めた実験室内診断が重要である。デングウイルスはヒト 蚊 ヒトの感染環を形成し、日本脳炎ウイルスにおけるブタのような増幅動物は存在しない。

臨床症状・徴候

(1) **デング熱(DF)**

症状を示す患者の大多数は、デング熱と呼ばれる一過性熱性疾患の症状を呈する。感染3～7日後、突然の発熱で始まり、頭痛特に眼窩痛・筋肉痛・関節痛を伴うことが多く、食欲不振、腹痛、便秘を伴うこともある。発熱のパターンは二相性になることが多いようである。発症後、3～4日後より胸部・体幹から始まる発疹が出現し、四肢・顔面へ広がる(図2)。これらの症状は1週間程度で消失し、通常、後遺症なく回復する。



図2. デング熱患者の発疹(日本人男性患者)

(2) **デング出血熱(DHF)**

デングウイルス感染後、デング熱とほぼ同様に発症して経過した患者の一部において、突然に、血漿漏出と出血傾向を主症状とするデング出血熱となる。重篤な症状は、発熱が終わり平熱に戻りかけたときに起こることが特徴的である。

患者は不安・興奮状態となり、発汗がみられ、四肢は冷たくなる。胸水や腹水が極めて高率にみられる。また、肝臓の腫脹、補体の活性化、血小板減少、血液凝固時間延長がみられる。多くの例で細かい点状出血がみられる。さらに出血熱の名が示すように、10～20%の例で鼻出血・消化管出血などがみられる。しかし、症状の主体は血漿漏出である。血漿漏出がさらに進行すると、循環血液量の不足からhypovolemic shockになることがある。症状の重症度によりGrade 1～4の4段階に分けられ、ショック症状を示すGrade 3、4はデングショック症候群と呼ばれることもある(表2)。

デング出血熱は、適切な治療が行われないと死に至る疾患である。致死率は国により、数パーセントから1パーセント以下と様々である。

表2. WHOによるデング出血熱の病態分類

- Grade 1 : 発熱と非特異的症状、出血傾向としてTourniquetテスト*陽性。
- Grade 2 : Grade 1に加えて自発的出血が存在する。
- Grade 3 : 頻脈、脈拍微弱、脈圧低下 (20mmHg以下) で代表される循環障害
- Grade 4 : ショック状態、血圧や脈圧測定不能

*Tourniquetテスト : 日本では臨床医がデング熱患者を診察した時にあまり実施されていないが、患者の腕に駆血帯により圧迫することにより、点状出血が増加する現象を見ることである。2.5cm²あたり10以上の溢血点(点状出血) を観察した場合、陽性とする。陽性の場合、デング熱の診断上重要な指標となりうる。

病原診断

病原体診断では、RT-PCR法によるウイルス遺伝子の検出、および蚊由来C6/36細胞やアフリカミドリザル由来のVero細胞により、ウイルス分離を行う。型特異プライマーを用いてウイルス遺伝子を検出すれば、型別診断ができる。

血清診断では、IgM捕捉ELISAによるIgM抗体の検出を行う。急性期に比して回復期に特異中和抗体価、HI抗体価が上昇することによっても診断可能である。ただし、日本脳炎ウイルスに免疫を有する多くの日本人においては、デングウイルス感染により日本脳炎ウイルス抗体価も上昇する例が多いので、注意を要する。1型から4型のウイルスそれぞれに対するプラーク減少法により中和抗体価を測定すれば、型別診断も可能である。

治療・予防

通常のデング熱の場合には、輸液や鎮痛解熱剤の投与にとどまることがほとんどである。ただし、鎮痛解熱剤としてサルチル酸系のものは出血傾向やアシドーシスを助長することから禁忌であり、アセトアミノフェンがすすめられる。

デング出血熱の場合には、循環血液量の減少、血液濃縮が問題であり、適切な輸液療法が重要となる。輸液剤としては生理食塩水、乳酸加リンゲル液などの他に、新鮮凍結血漿、膠質浸透圧剤などが必要となることもあり、バイタルサインなどとともにヘマトクリット値をモニターしながら投与する。ときには酸素投与や、動脈血pHの状況により重炭酸ナトリウムの投与も行なわれる。血小板減少が著しい場合には、血小板輸血も考慮する。

予防に関しては、日中に蚊に刺されない工夫が重要である。具体的には、長袖服・長ズボンの着用、昆虫忌避剤の使用などである。

感染症法における取り扱い

デング熱は4類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出
 - 例 血液等からのウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
 - 例 PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出
 - 例 血清中のデングウイルス特異的IgM抗体の検出
 - 特異的IgG抗体価のペア血清での4倍以上の上昇など

上記の基準に加えて、下記の4つの基準を全て満たした場合にはデング出血熱として報告する。

- 2～7日持続する発熱(時に2峰性のパターンをとる)
- 血管透過性亢進による以下の血漿漏出症状のうち1つ以上
 - ・ヘマトクリットの上昇(補液なしで同性、同年代の者に比べ20%以上の上昇)
 - ・ショック症状の存在
 - ・胸水、腹水の存在、血清蛋白の低下

血小板減少(100,000 / mm³以下)

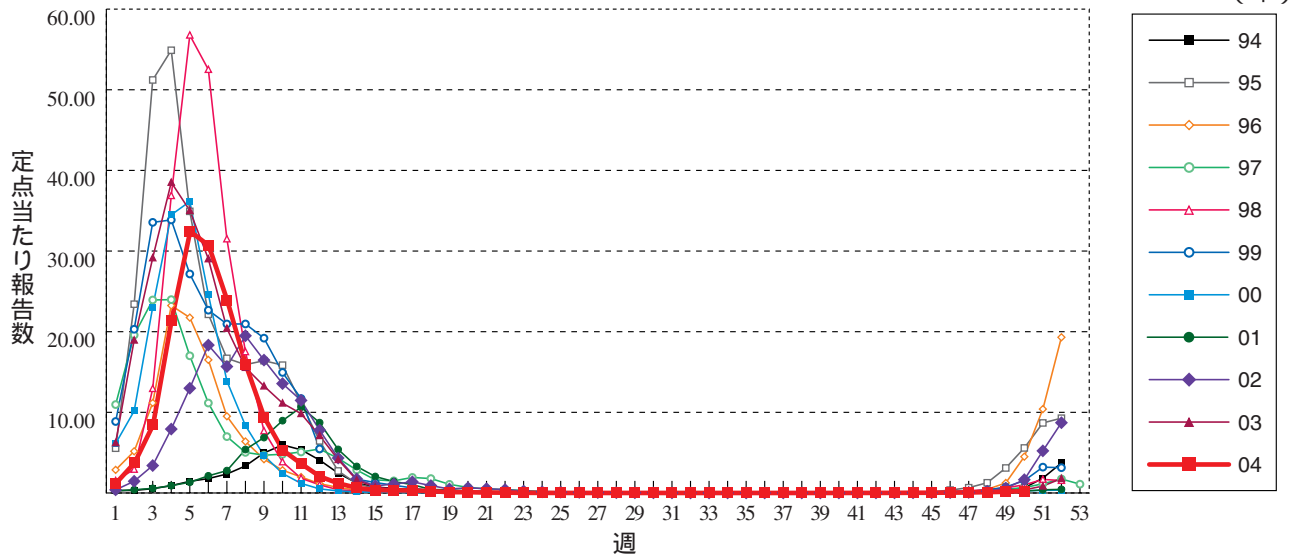
以下の出血傾向のうち1つ以上

- ・Tourniquetテスト陽性
- ・点状出血、斑状出血あるいは紫斑
- ・粘膜あるいは消化管出血、あるいは注射部位や他の部位からの出血
- ・血便

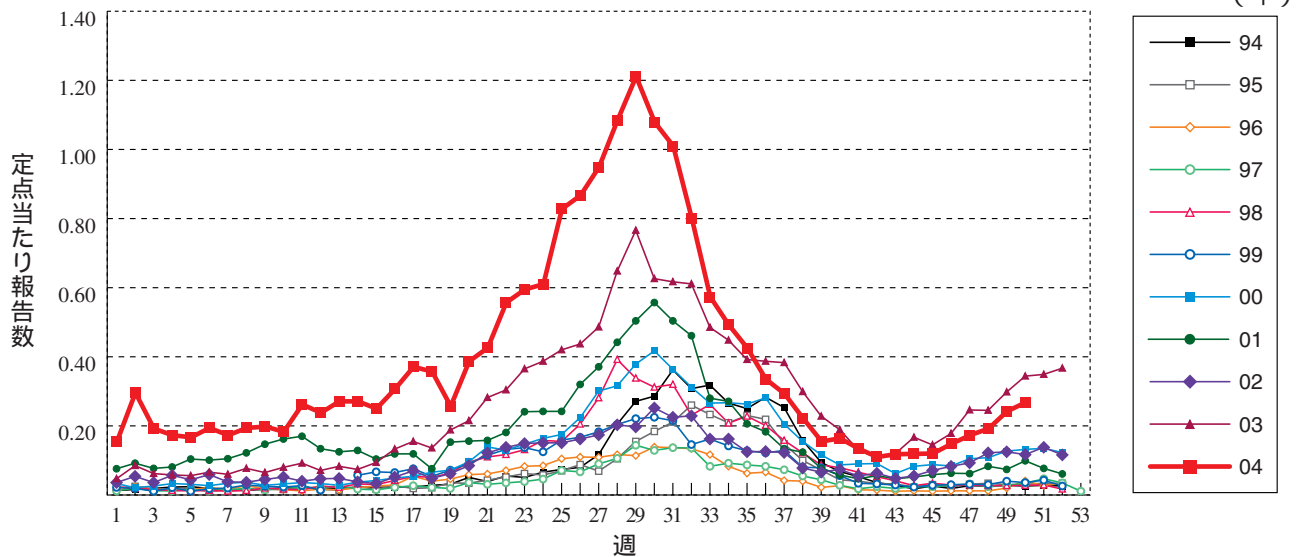
(国立感染症研究所ウイルス第一部 高崎智彦)

グラフ総覧(50週)

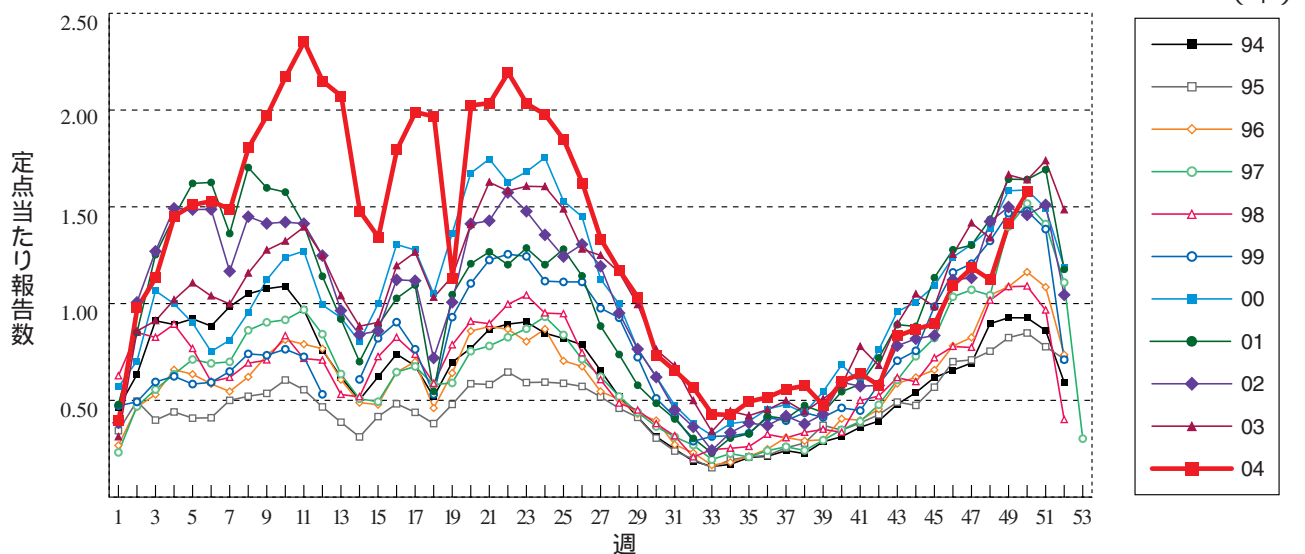
インフルエンザ



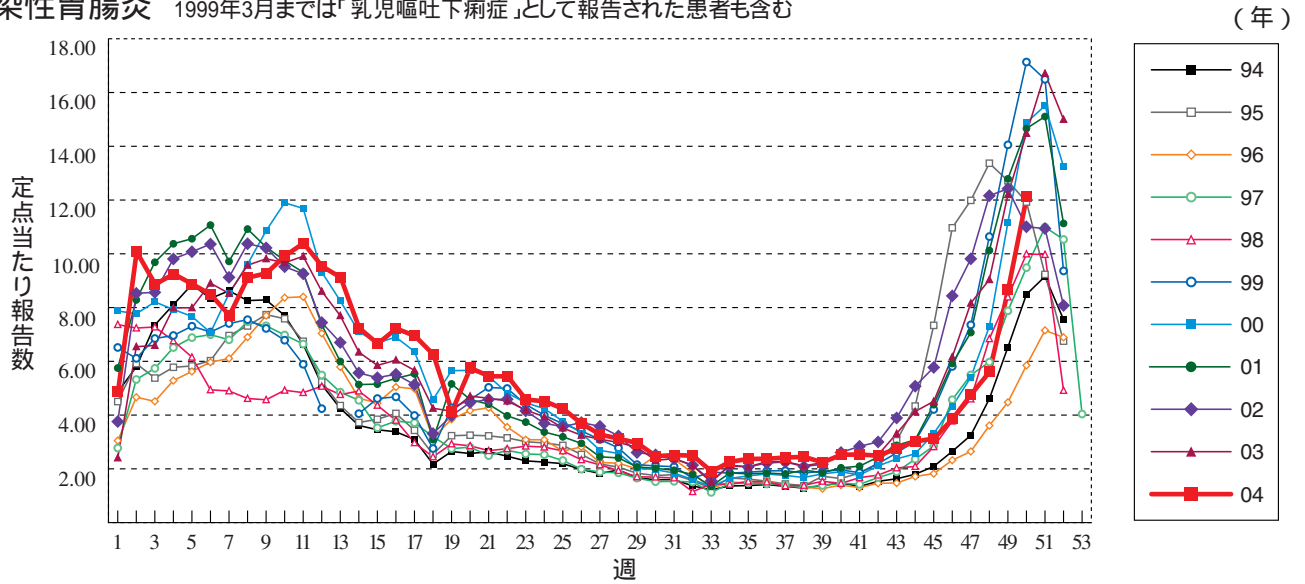
咽頭結膜熱



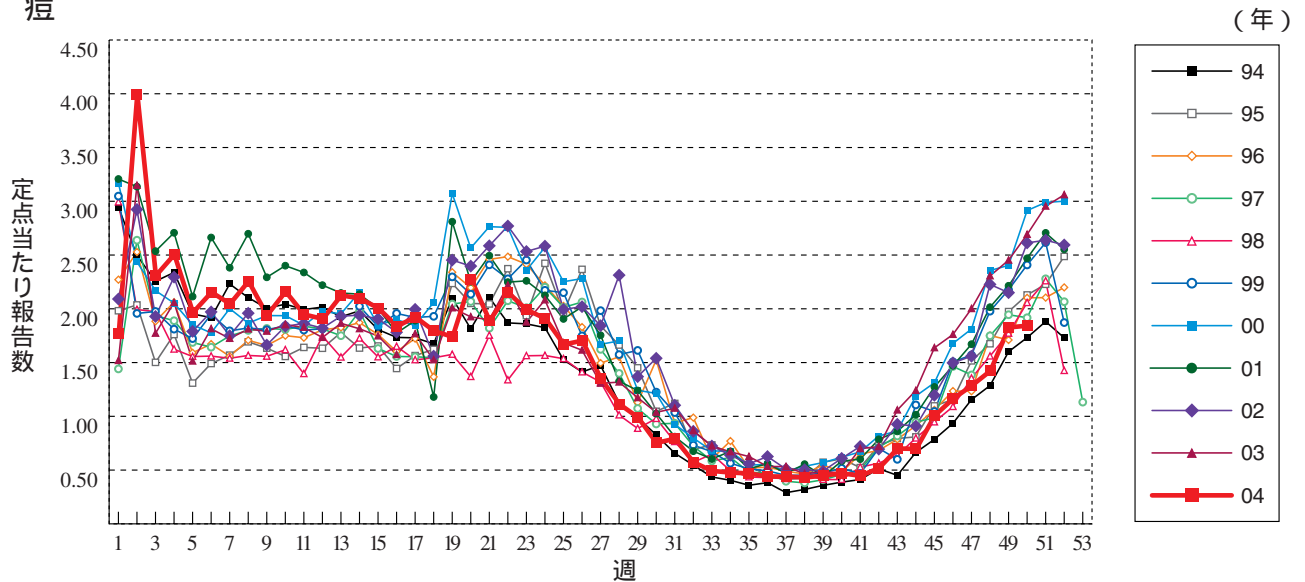
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



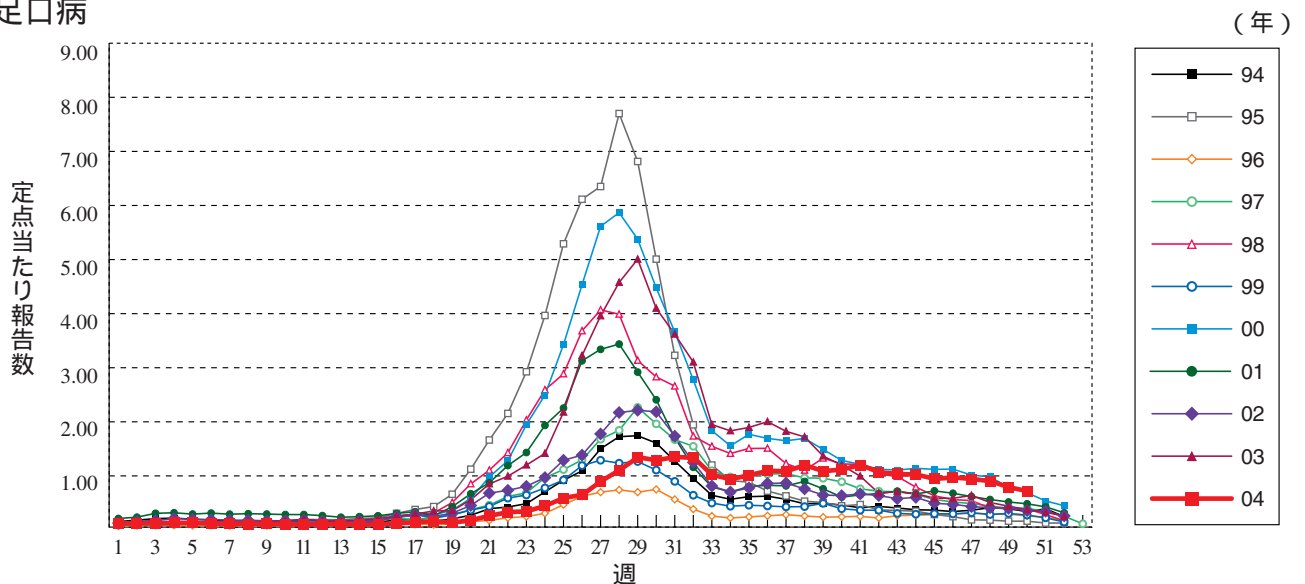
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



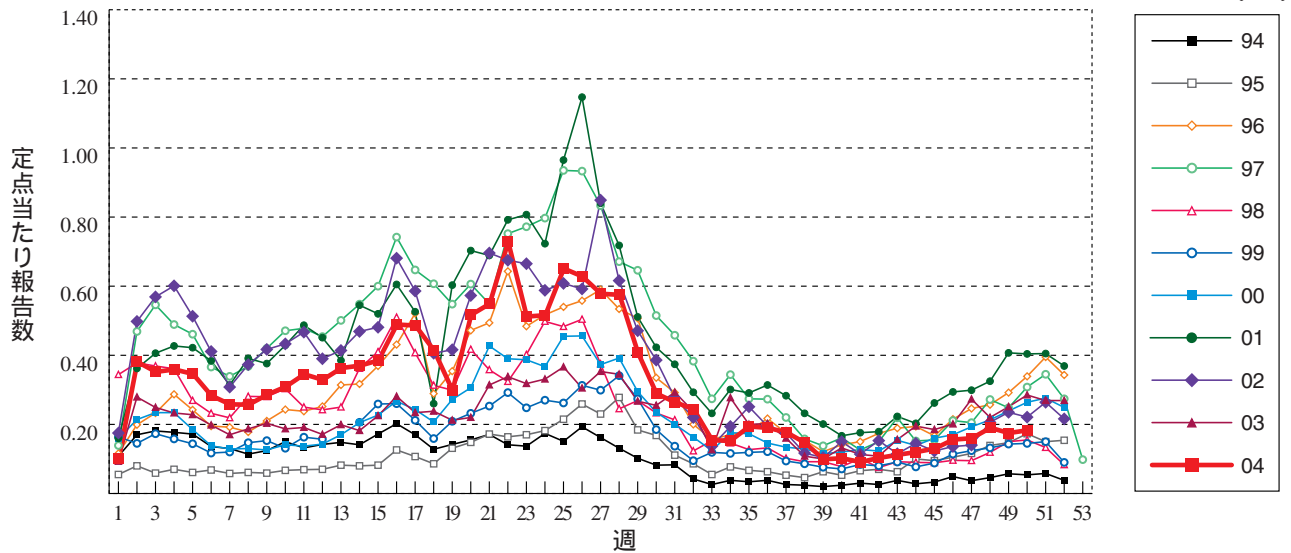
水痘



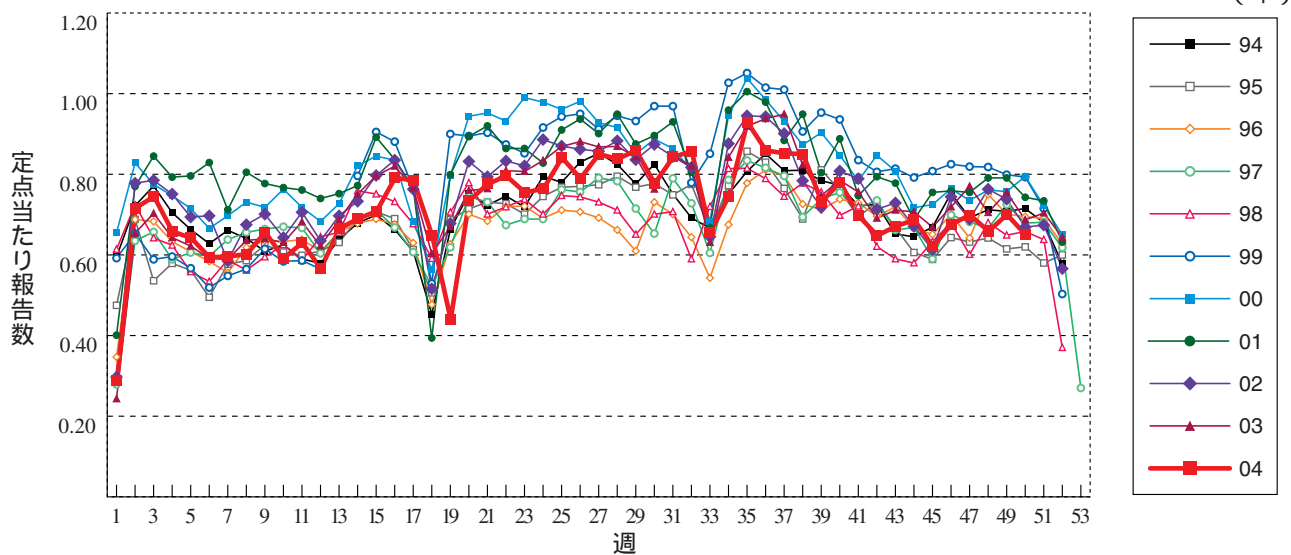
手足口病



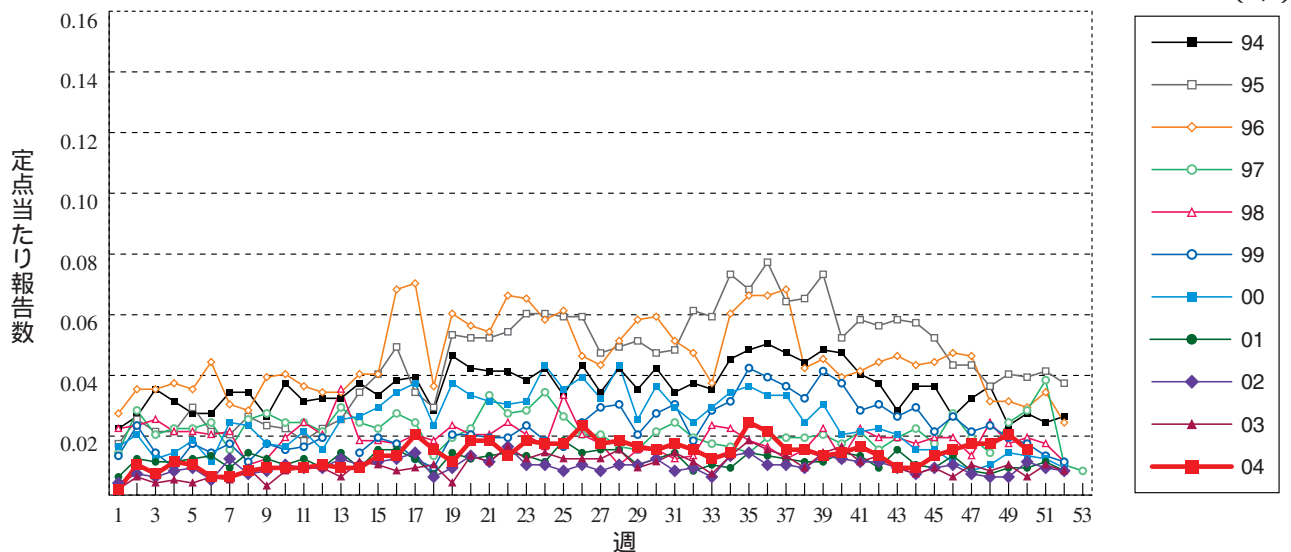
伝染性紅斑



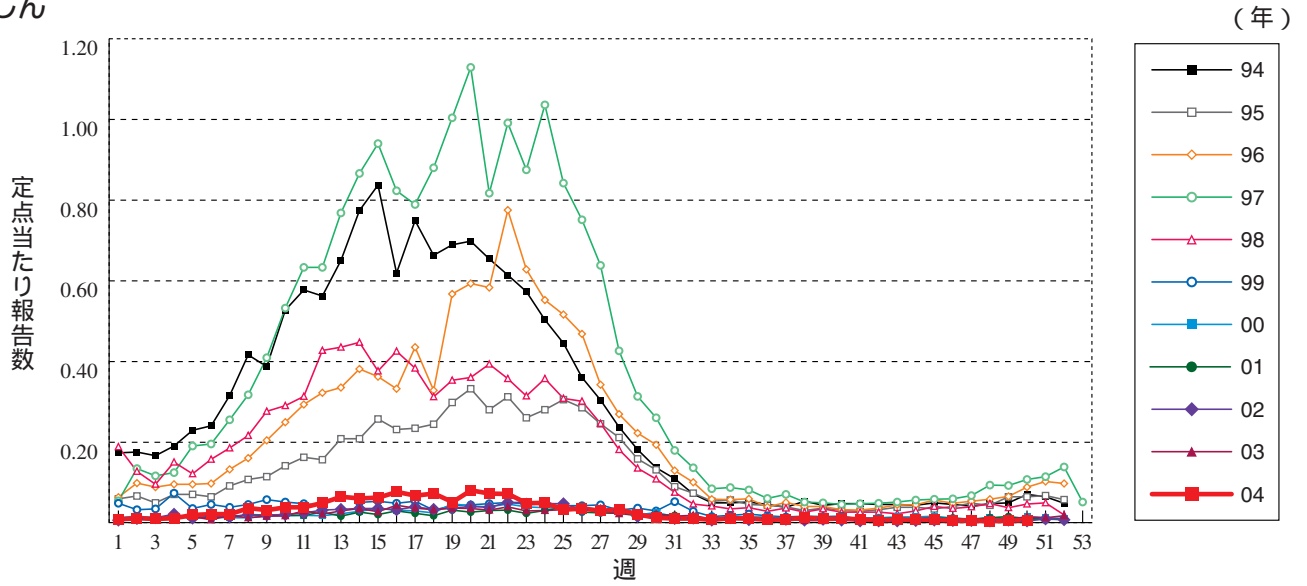
突発性発しん



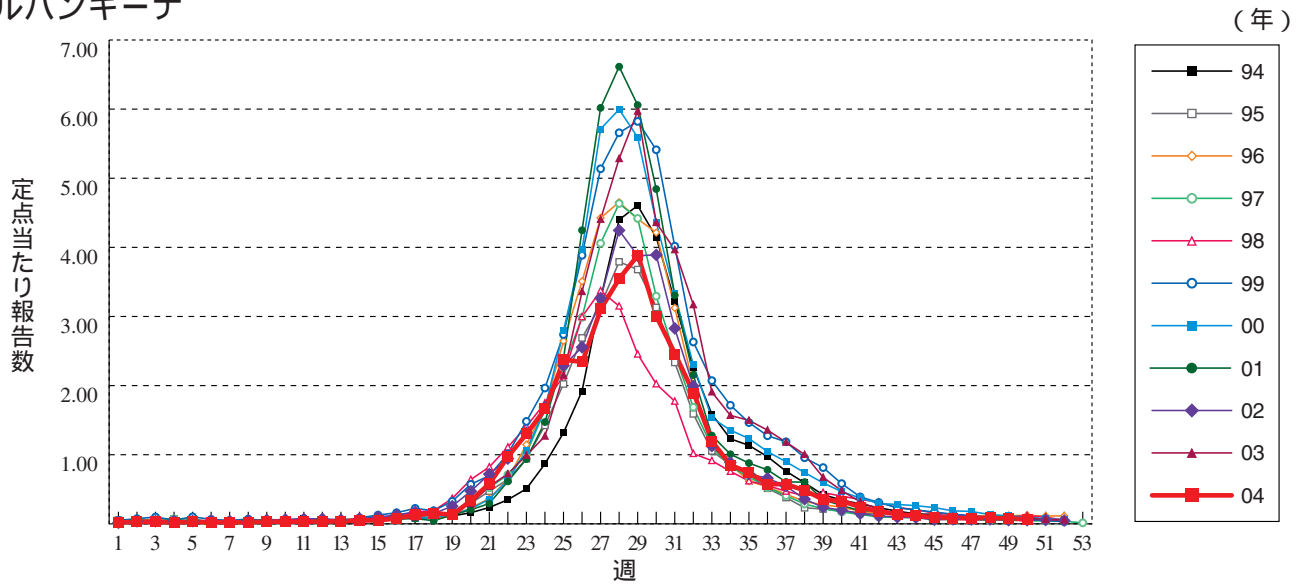
百日咳



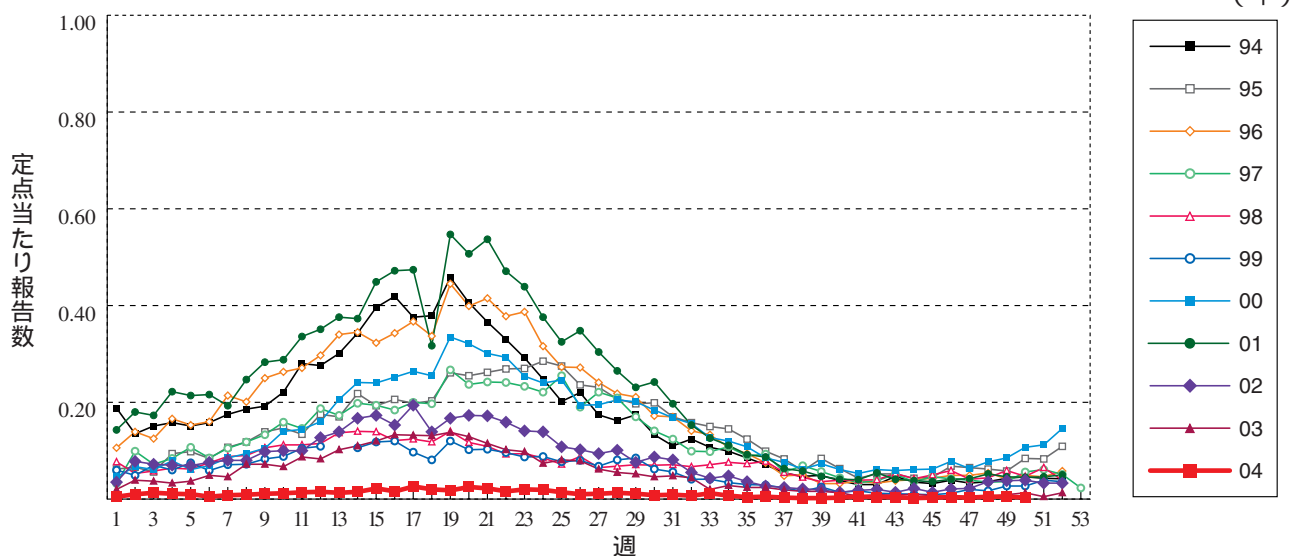
風しん



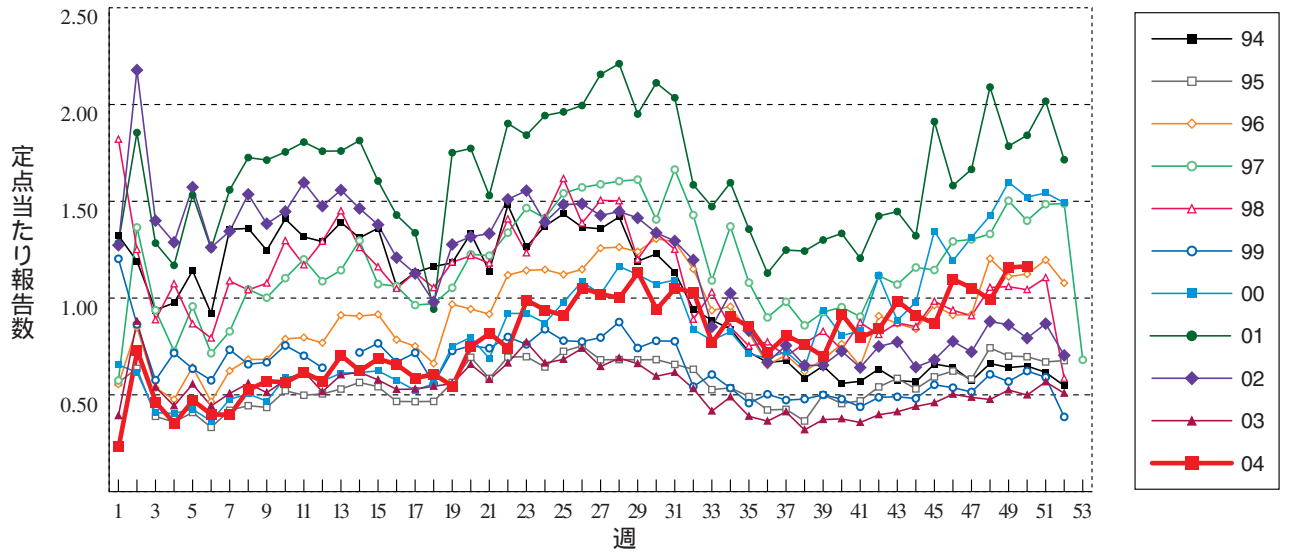
ヘルパンギーナ



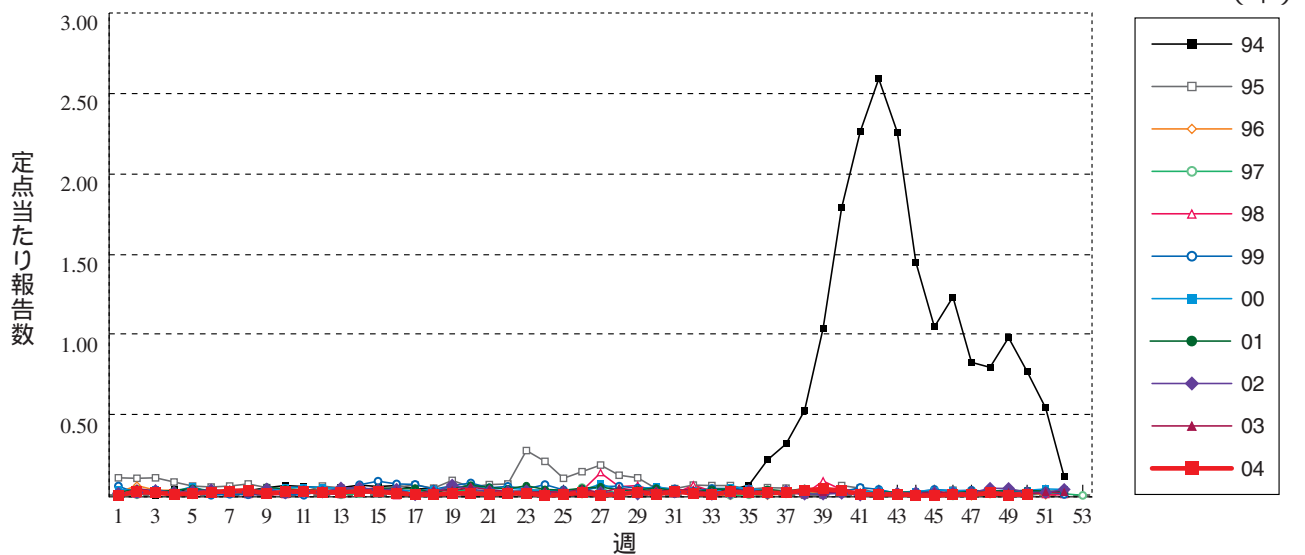
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



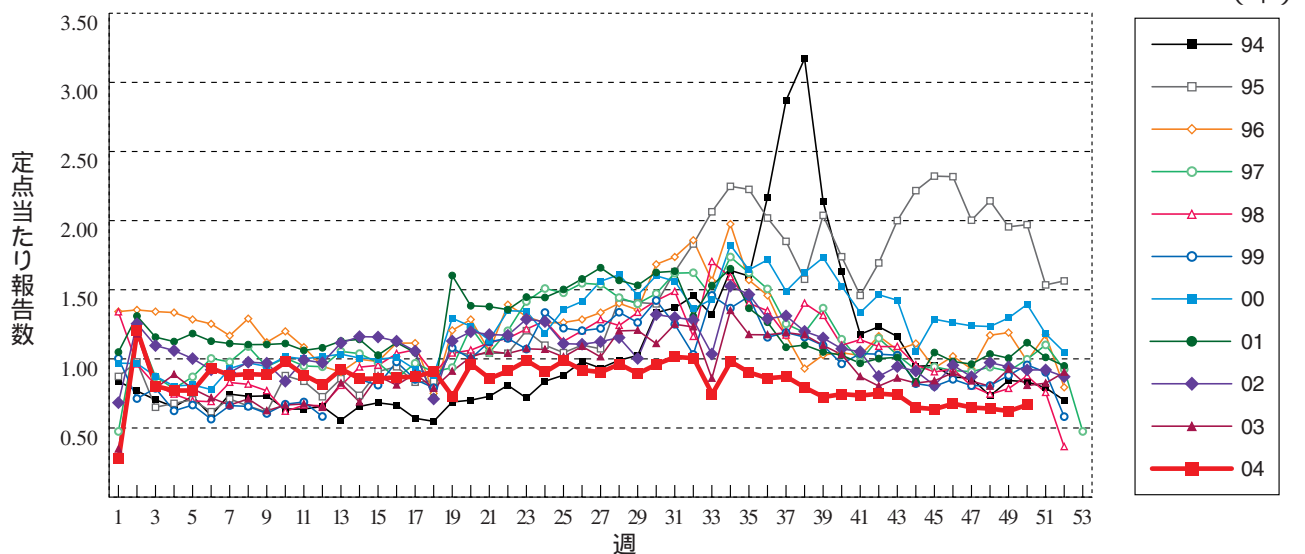
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

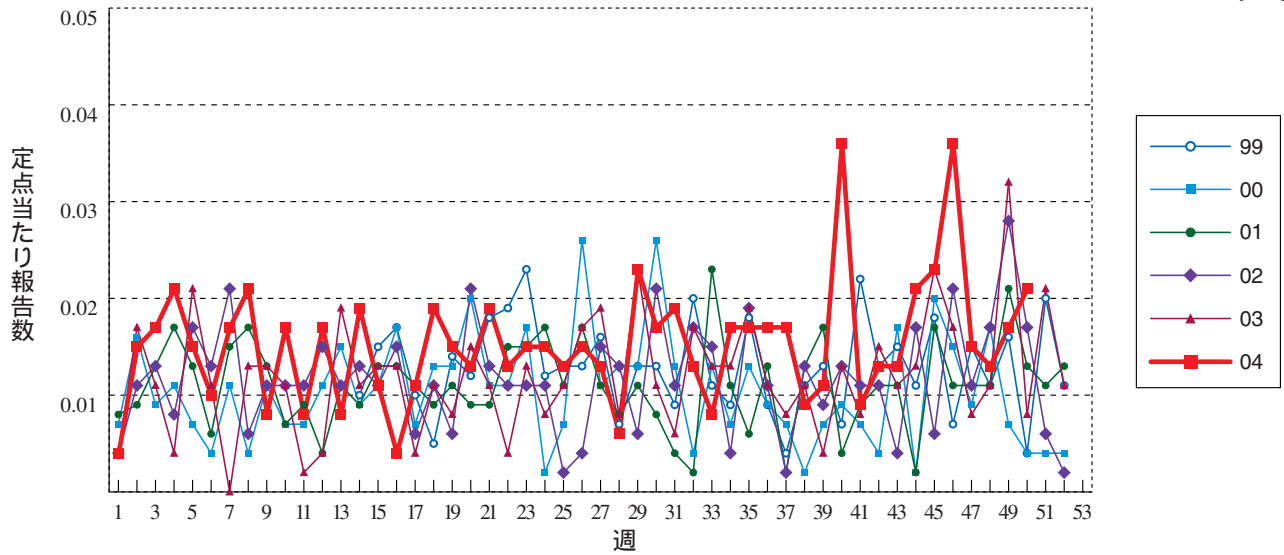


流行性角結膜炎



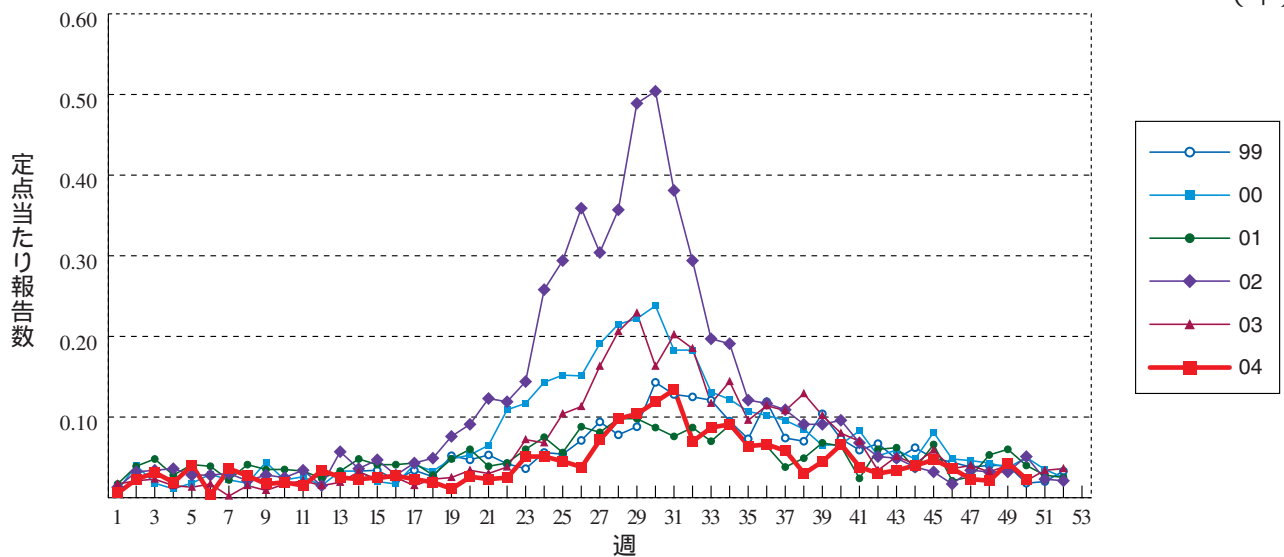
細菌性髄膜炎

(年)



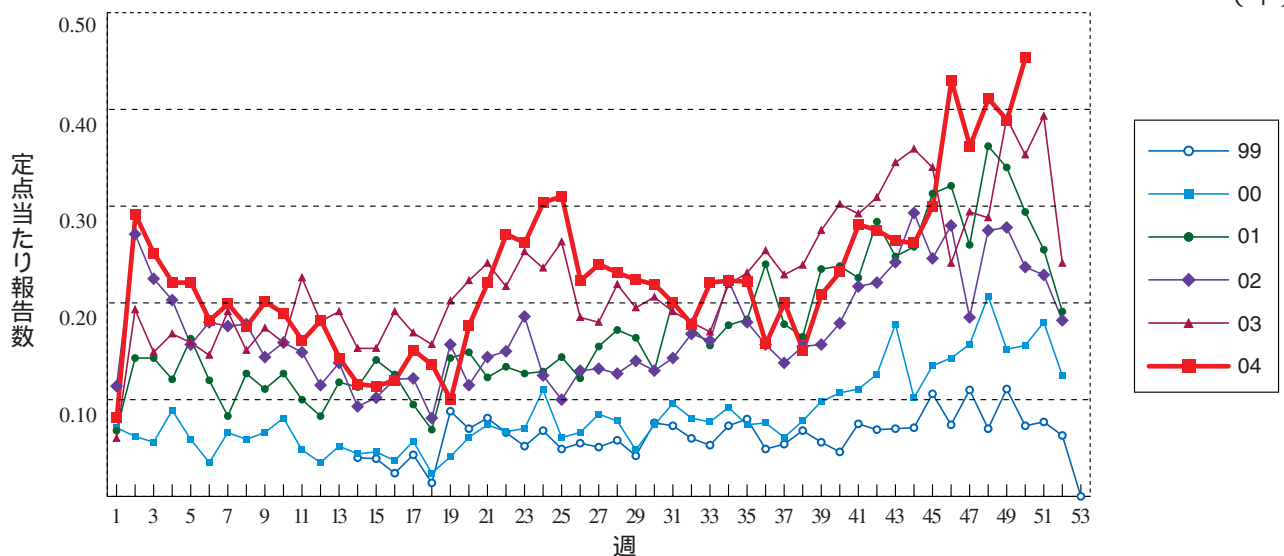
無菌性髄膜炎

(年)



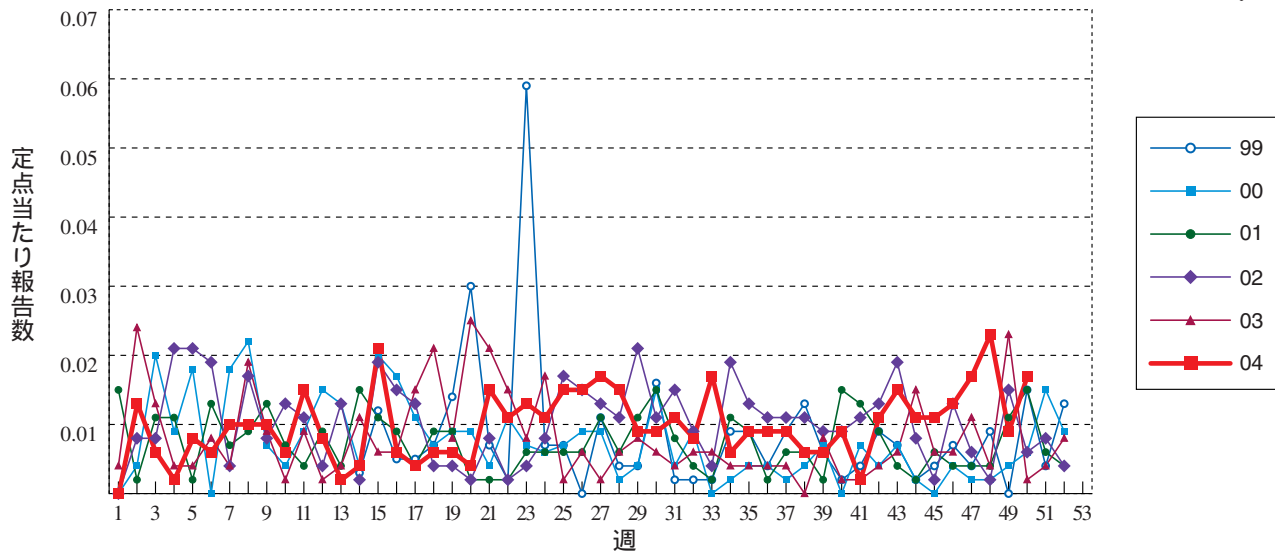
マイコプラズマ肺炎

(年)



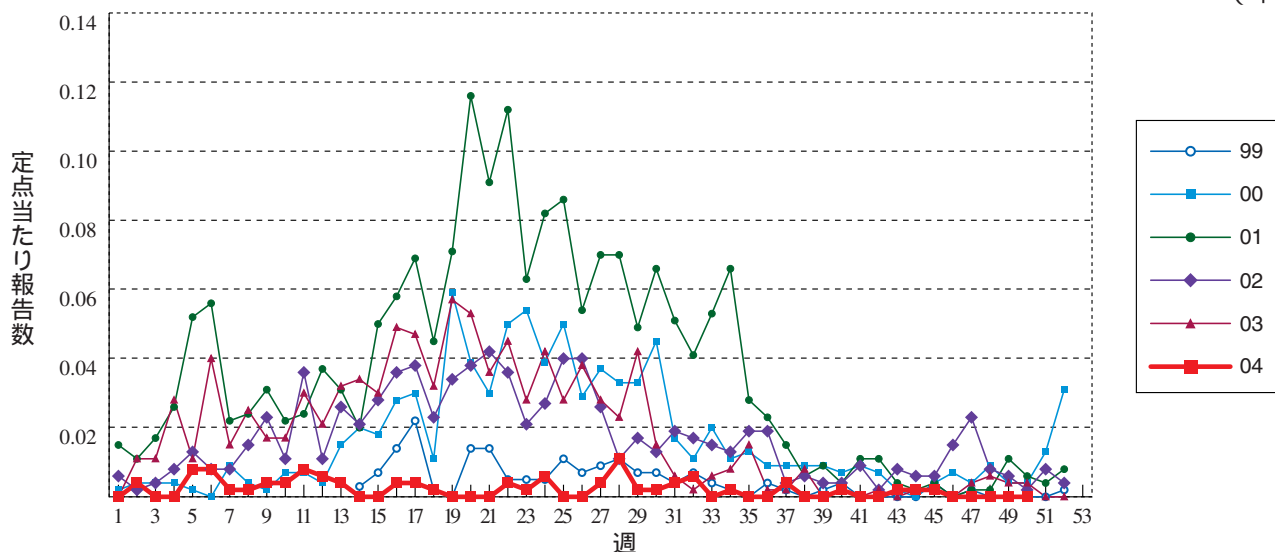
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

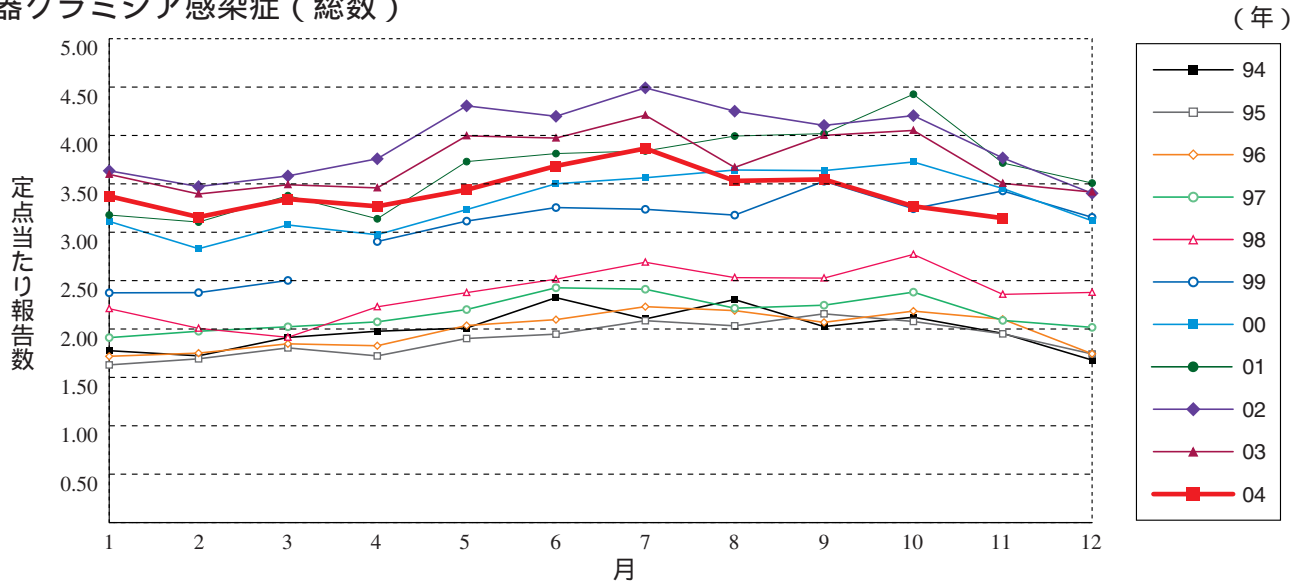




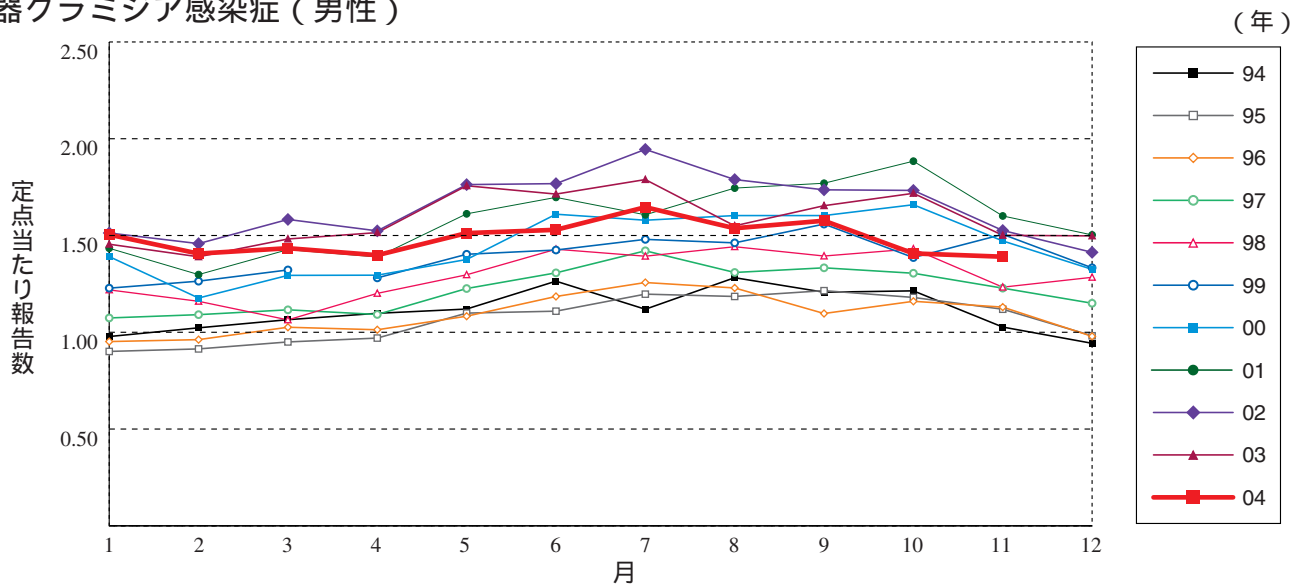
グラフ総覧(11月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

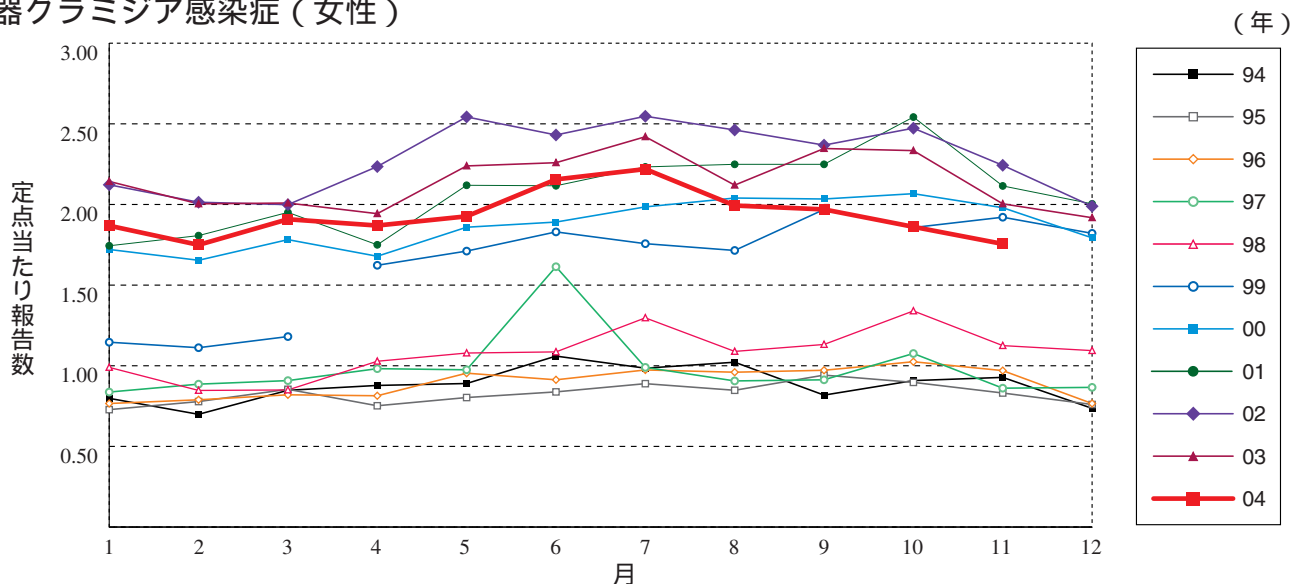
性器クラミジア感染症(総数)



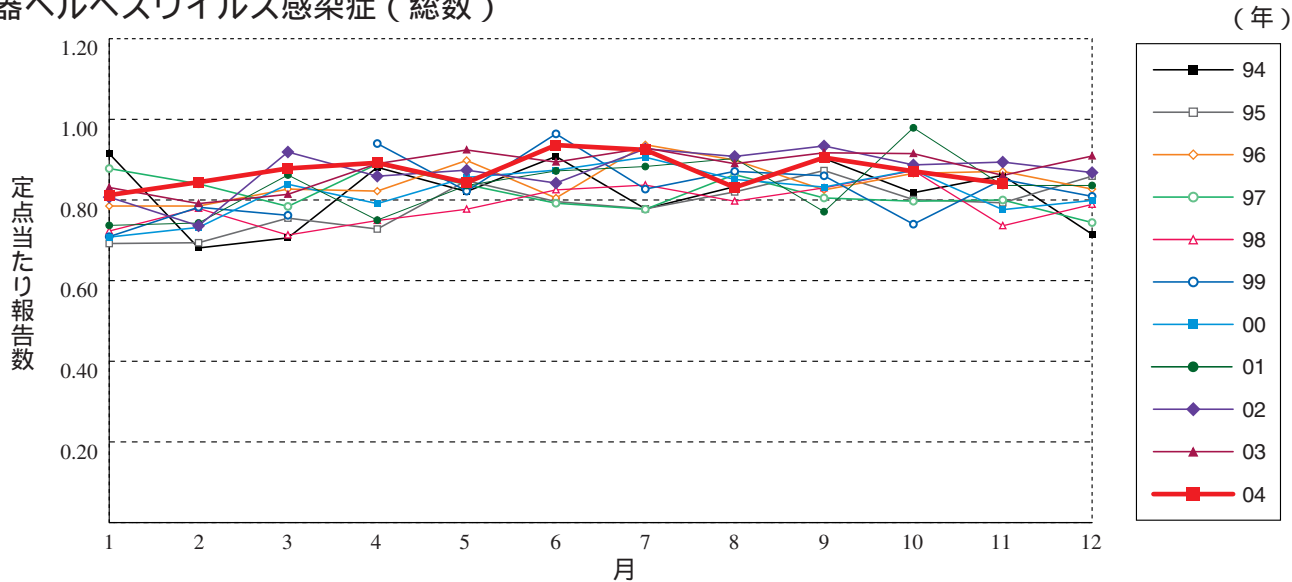
性器クラミジア感染症(男性)



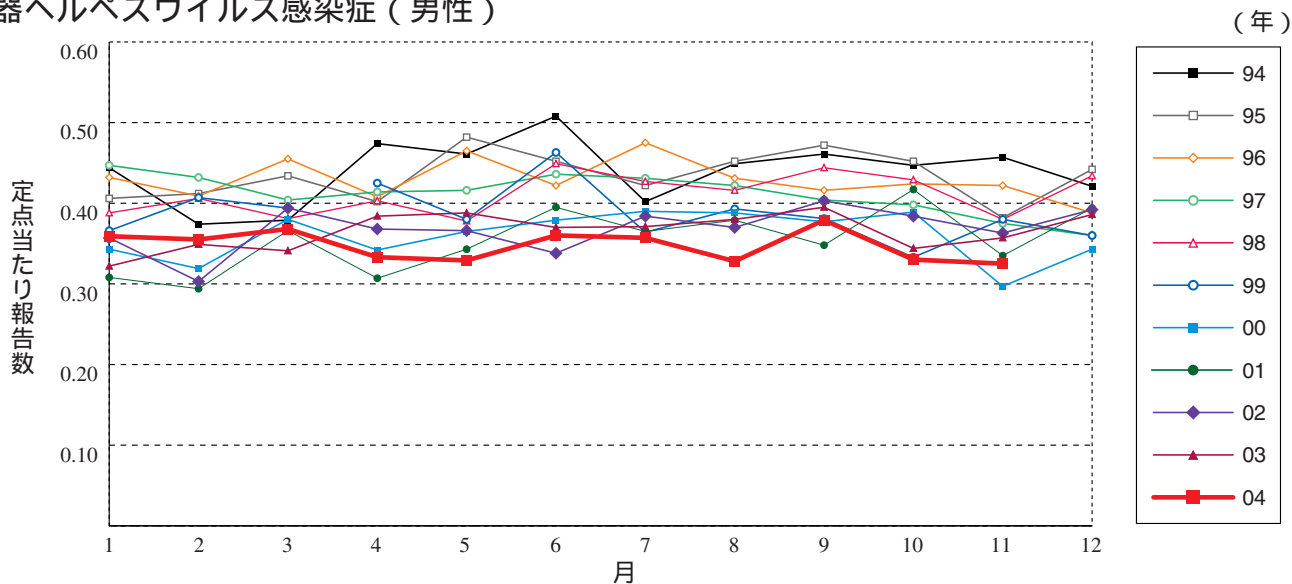
性器クラミジア感染症(女性)



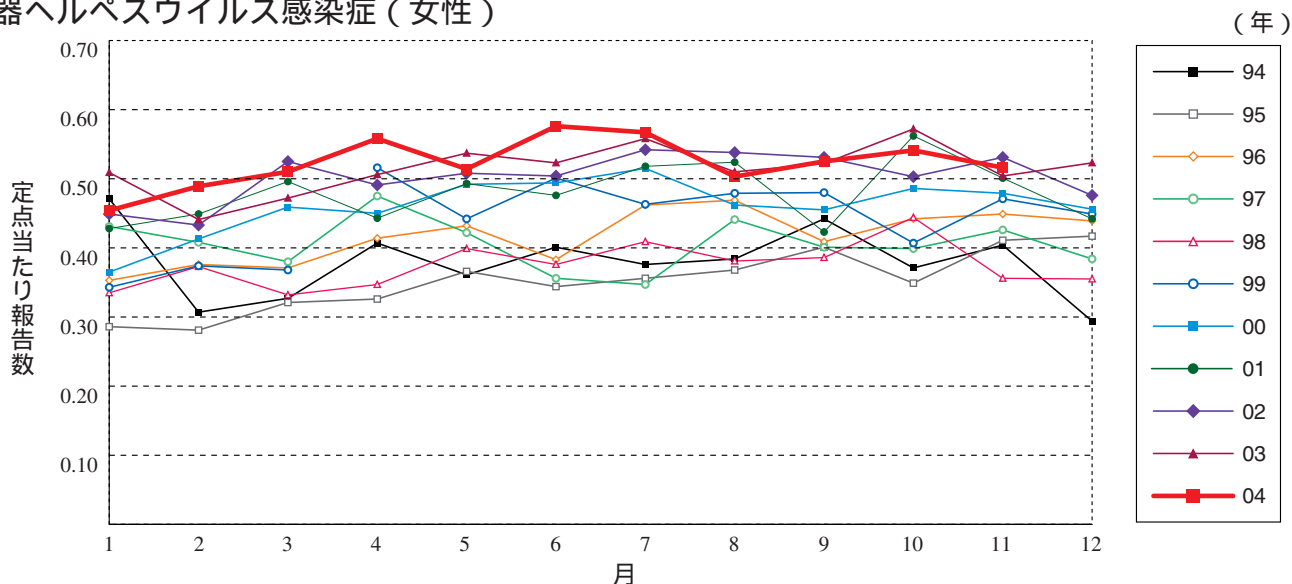
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



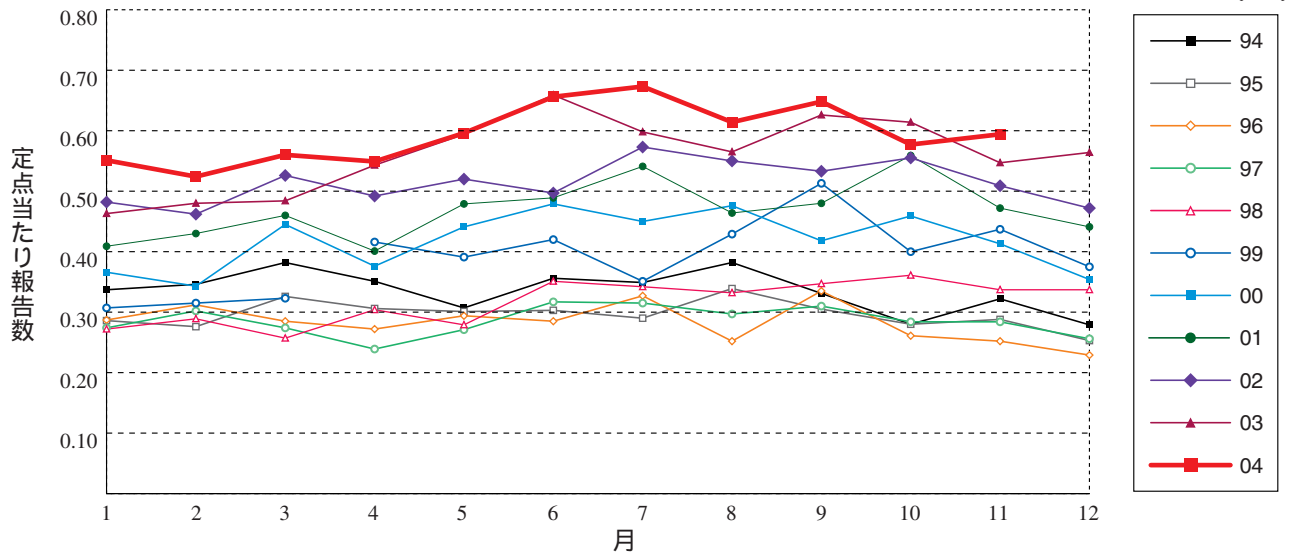
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



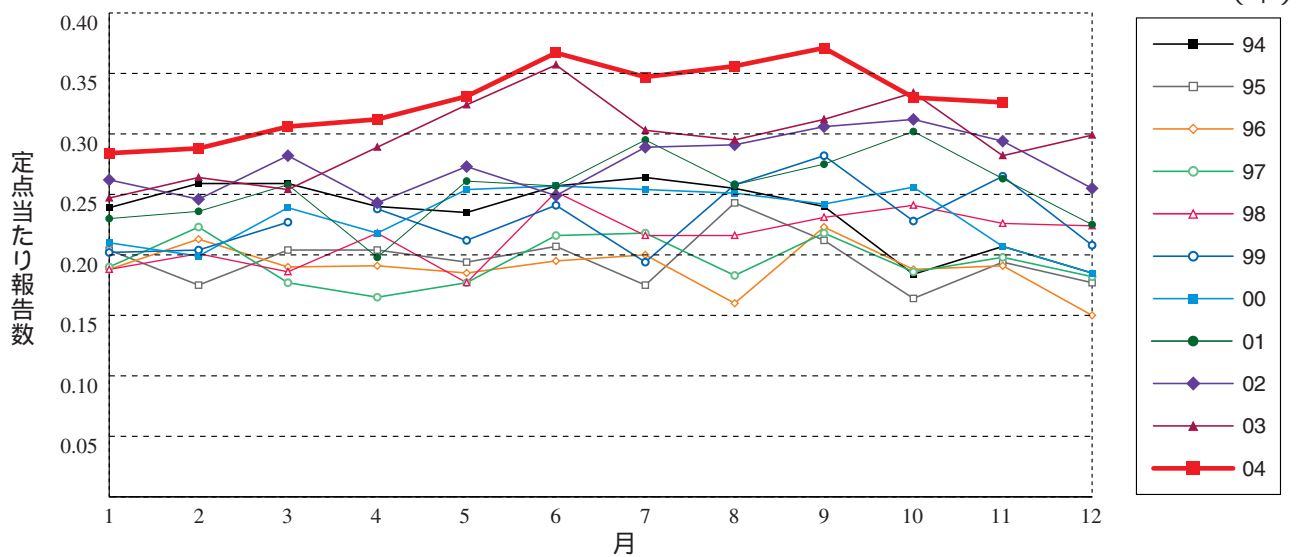
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



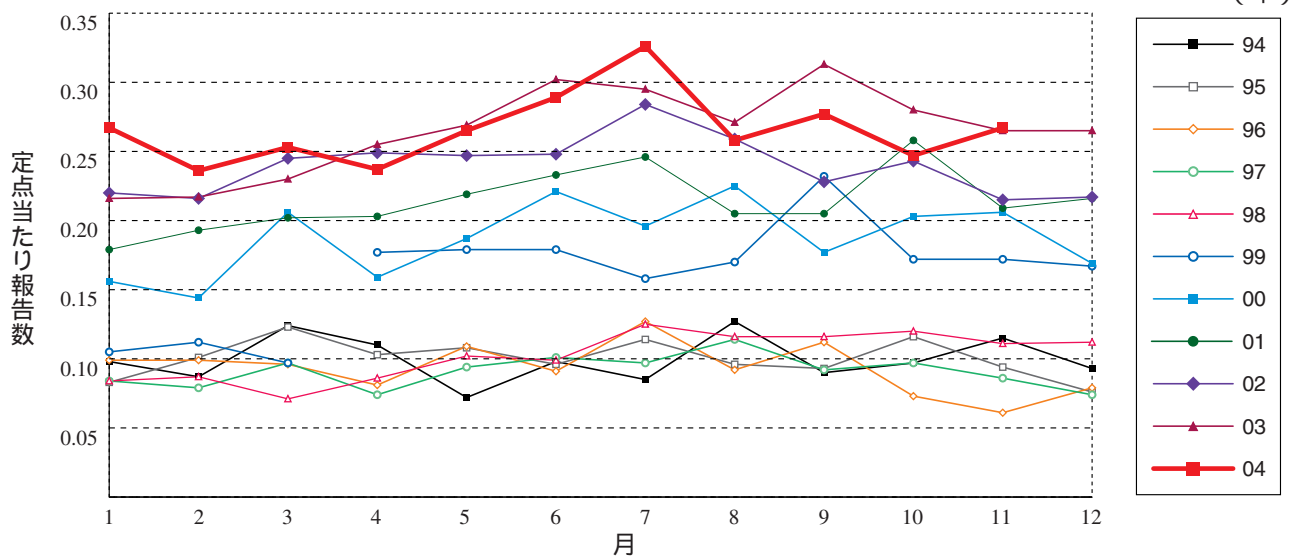
尖圭コンジローマ (総数)



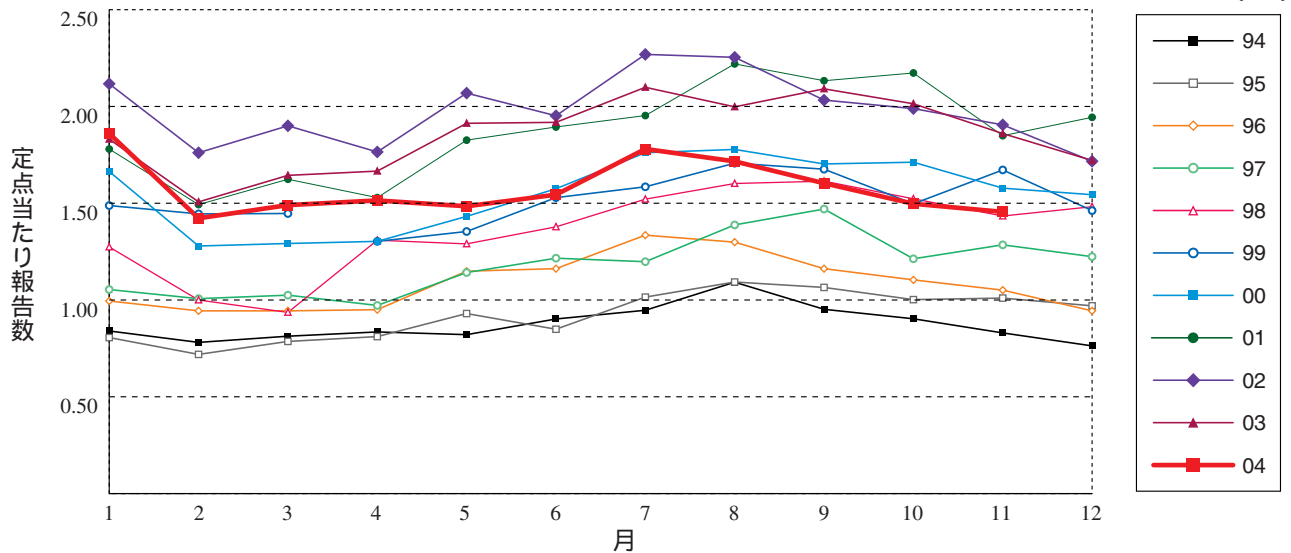
尖圭コンジローマ (男性)



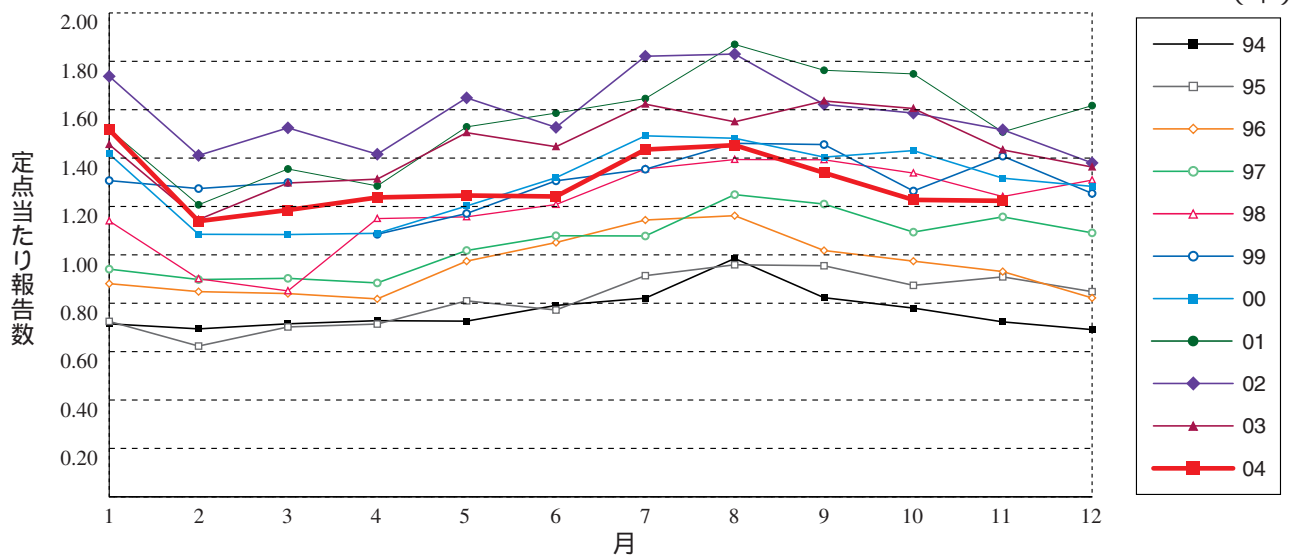
尖圭コンジローマ (女性)



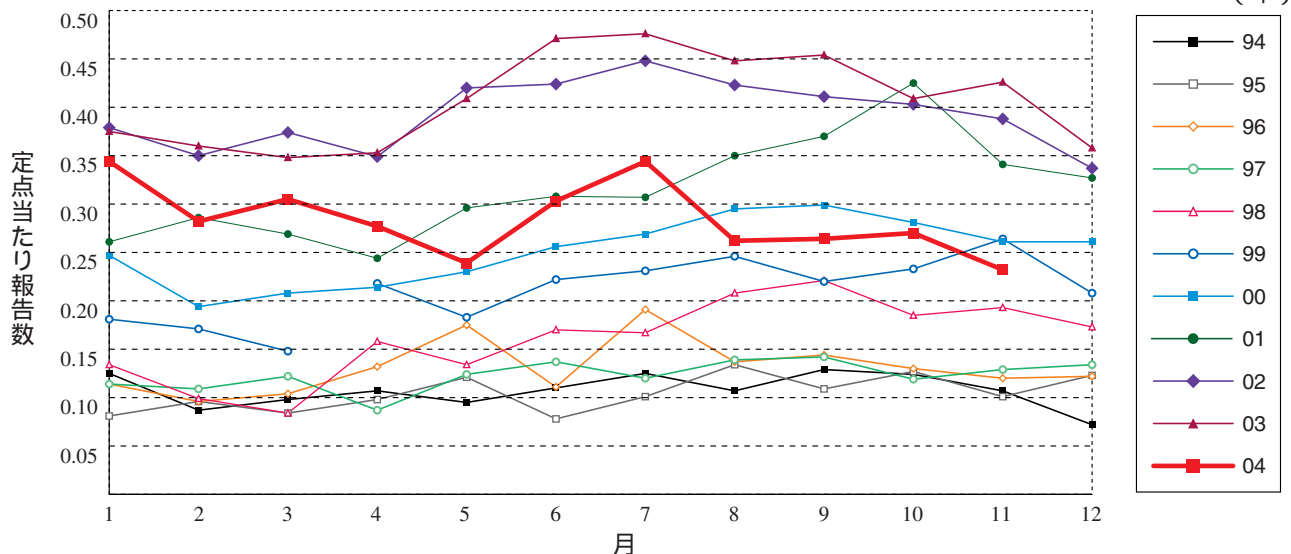
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

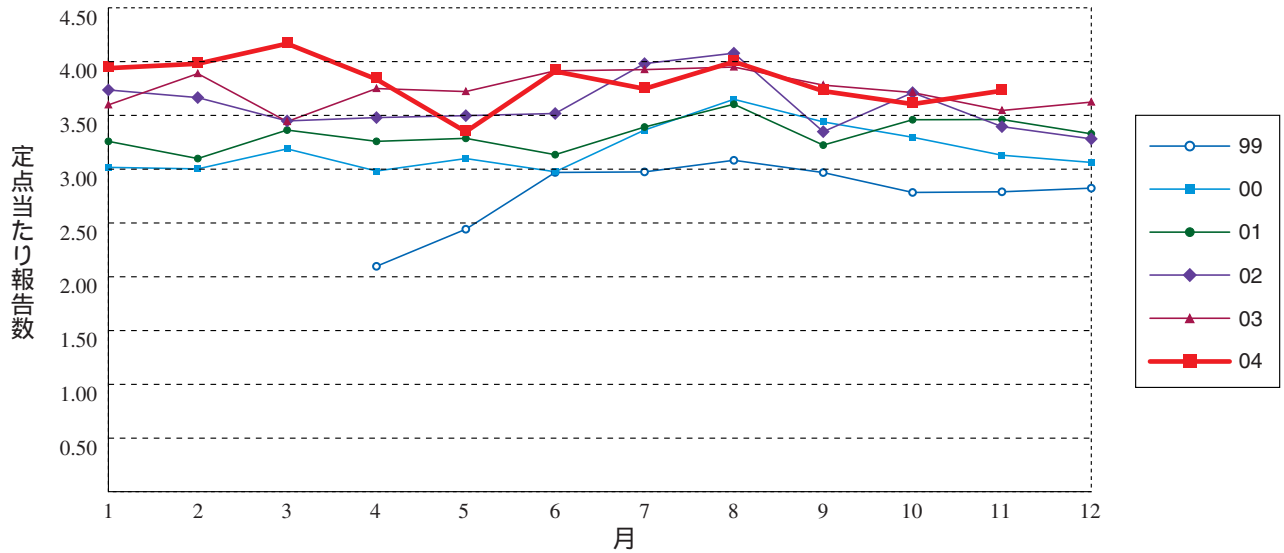


淋菌感染症（女性）



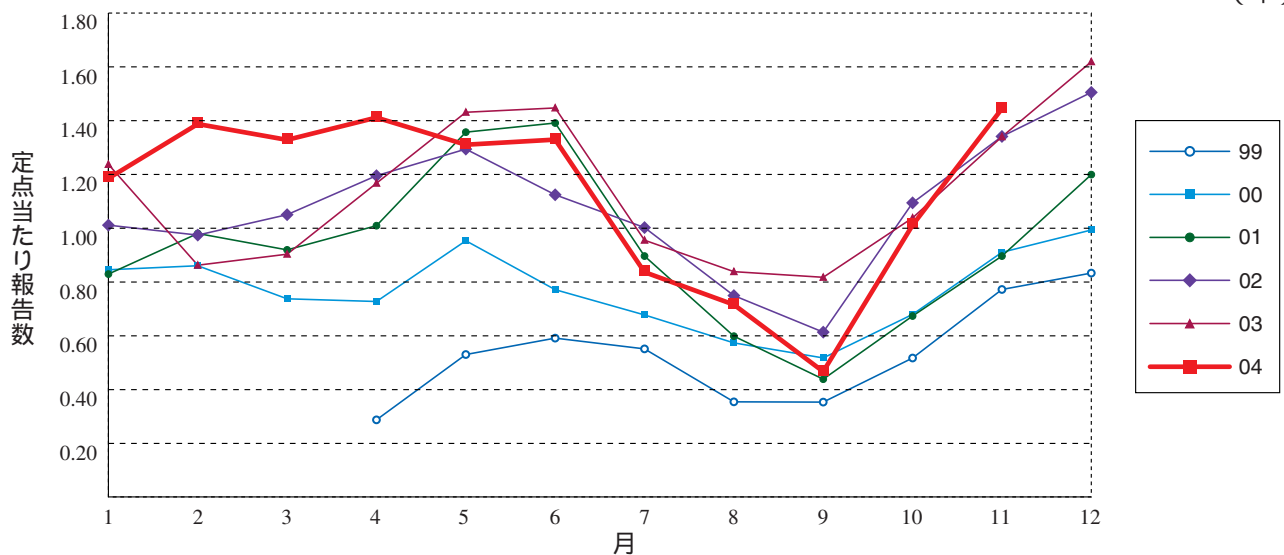
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



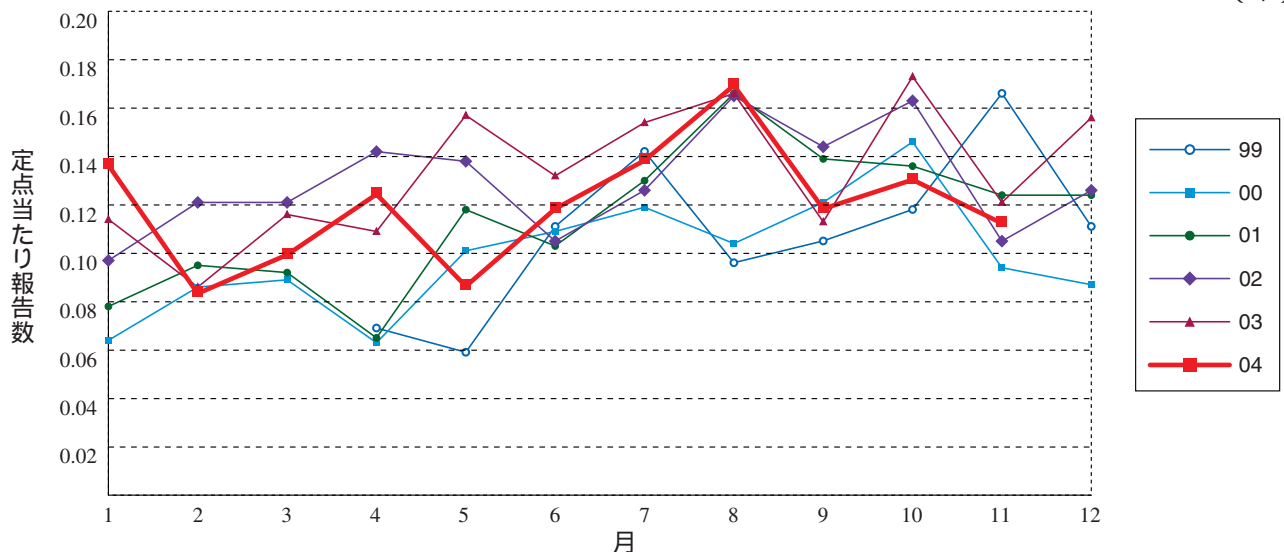
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





11月のデータ 注)12月9日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2909	3.14	778	0.84	549	0.59	1346	1.46	1763	3.74	683	1.45	53	0.11
北海道	181	4.41	53	1.29	18	0.44	65	1.59	51	2.13	19	0.79	1	0.04
青森県	47	3.62	7	0.54	6	0.46	9	0.69	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	34	2.62	12	0.92	3	0.23	14	1.08	97	4.85	28	1.40	2	0.10
宮城県	67	3.72	18	1.00	24	1.33	33	1.83	35	2.92	20	1.67	3	0.25
秋田県	27	1.93	4	0.29	9	0.64	16	1.14	36	5.14	14	2.00	-	-
山形県	24	2.40	2	0.20	3	0.30	6	0.60	42	4.20	22	2.20	-	-
福島県	59	3.69	13	0.81	15	0.94	42	2.63	9	1.29	8	1.14	-	-
茨城県	89	4.24	12	0.57	7	0.33	32	1.52	12	1.20	2	0.20	1	0.10
栃木県	50	3.13	10	0.63	15	0.94	27	1.69	54	7.71	3	0.43	-	-
群馬県	120	4.80	21	0.84	12	0.48	63	2.52	42	4.20	12	1.20	5	0.50
埼玉県	197	3.86	36	0.71	32	0.63	53	1.04	22	2.44	4	0.44	1	0.11
千葉県	131	3.36	33	0.85	18	0.46	31	0.79	40	4.44	124	13.78	-	-
東京都	195	4.76	69	1.68	51	1.24	83	2.02	136	5.44	56	2.24	2	0.08
神奈川県	134	2.23	24	0.40	22	0.37	59	0.98	27	2.45	28	2.55	-	-
新潟県	29	1.45	10	0.50	11	0.55	29	1.45	57	4.38	13	1.00	1	0.08
富山県	12	1.71	5	0.71	2	0.29	16	2.29	48	9.60	57	11.40	3	0.60
石川県	16	1.60	12	1.20	1	0.10	17	1.70	13	2.60	2	0.40	-	-
福井県	9	1.80	5	1.00	-	-	4	0.80	21	3.50	26	4.33	1	0.17
山梨県	13	2.17	4	0.67	2	0.33	3	0.50	14	1.40	11	1.10	6	0.60
長野県	38	2.38	4	0.25	3	0.19	15	0.94	25	2.27	7	0.64	-	-
岐阜県	25	1.67	7	0.47	8	0.53	28	1.87	17	3.40	-	-	-	-
静岡県	64	2.13	17	0.57	7	0.23	20	0.67	64	6.40	16	1.60	-	-
愛知県	156	3.06	33	0.65	50	0.98	117	2.29	71	5.46	-	-	-	-
三重県	16	1.07	4	0.27	-	-	10	0.67	34	3.78	1	0.11	1	0.11
滋賀県	10	1.11	2	0.22	4	0.44	8	0.89	45	6.43	-	-	-	-
京都府	60	2.61	14	0.61	2	0.09	12	0.52	8	1.14	-	-	-	-
大阪府	288	4.80	151	2.52	77	1.28	161	2.68	46	3.29	3	0.21	1	0.07
兵庫県	104	2.21	24	0.51	22	0.47	44	0.94	25	1.79	3	0.21	-	-
奈良県	20	2.22	5	0.56	6	0.67	15	1.67	34	5.67	8	1.33	3	0.50
和歌山県	15	1.88	8	1.00	2	0.25	2	0.25	36	3.27	6	0.55	3	0.27
鳥取県	12	2.40	1	0.20	1	0.20	6	1.20	12	2.40	2	0.40	-	-
島根県	16	2.67	-	-	1	0.17	4	0.67	52	6.50	10	1.25	-	-
岡山県	73	4.29	12	0.71	26	1.53	24	1.41	14	2.80	1	0.20	2	0.40
広島県	42	1.56	12	0.44	15	0.56	14	0.52	124	5.90	62	2.95	8	0.38
山口県	35	2.92	8	0.67	4	0.33	12	1.00	73	8.11	21	2.33	1	0.11
徳島県	10	1.67	4	0.67	3	0.50	1	0.17	10	1.43	-	-	-	-
香川県	18	2.57	10	1.43	9	1.29	8	1.14	16	4.00	1	0.25	-	-
愛媛県	23	2.09	2	0.18	7	0.64	11	1.00	25	4.17	-	-	1	0.17
高知県	4	0.67	1	0.17	-	-	1	0.17	59	7.38	30	3.75	1	0.13
福岡県	191	4.90	51	1.31	25	0.64	112	2.87	16	1.00	12	0.75	-	-
佐賀県	15	2.14	3	0.43	1	0.14	10	1.43	29	4.83	10	1.67	2	0.33
長崎県	23	2.30	8	0.80	4	0.40	13	1.30	7	0.58	-	-	-	-
熊本県	70	5.00	15	1.07	4	0.29	22	1.57	53	3.53	2	0.13	2	0.13
大分県	9	0.90	11	1.10	6	0.60	15	1.50	36	3.60	23	2.30	1	0.10
宮崎県	36	3.27	6	0.55	3	0.27	21	1.91	30	4.29	8	1.14	-	-
鹿児島県	56	3.50	12	0.75	5	0.31	25	1.56	26	2.17	1	0.08	1	0.08
沖縄県	46	3.83	3	0.25	3	0.25	13	1.08	18	2.57	7	1.00	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1286	1.39	301	0.33	302	0.33	1131	1.22	1124	2.39	376	0.80	34	0.07
北海道	45	1.10	8	0.20	9	0.22	45	1.10	38	1.58	8	0.33	1	0.04
青森県	16	1.23	3	0.23	3	0.23	6	0.46	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	11	0.85	5	0.38	2	0.15	11	0.85	66	3.30	19	0.95	2	0.10
宮城県	31	1.72	6	0.33	13	0.72	30	1.67	22	1.83	11	0.92	3	0.25
秋田県	13	0.93	1	0.07	5	0.36	16	1.14	24	3.43	7	1.00	-	-
山形県	11	1.10	-	-	3	0.30	6	0.60	25	2.50	17	1.70	-	-
福島県	30	1.88	5	0.31	2	0.13	36	2.25	5	0.71	2	0.29	-	-
茨城県	33	1.57	7	0.33	4	0.19	23	1.10	6	0.60	2	0.20	-	-
栃木県	36	2.25	6	0.38	12	0.75	26	1.63	35	5.00	3	0.43	-	-
群馬県	67	2.68	10	0.40	4	0.16	54	2.16	32	3.20	5	0.50	5	0.50
埼玉県	61	1.20	11	0.22	15	0.29	48	0.94	16	1.78	2	0.22	1	0.11
千葉県	62	1.59	15	0.38	13	0.33	27	0.69	22	2.44	68	7.56	-	-
東京都	103	2.51	32	0.78	37	0.90	64	1.56	93	3.72	31	1.24	1	0.04
神奈川県	96	1.60	14	0.23	11	0.18	56	0.93	21	1.91	9	0.82	-	-
新潟県	17	0.85	7	0.35	8	0.40	28	1.40	38	2.92	8	0.62	1	0.08
富山県	11	1.57	3	0.43	-	-	16	2.29	25	5.00	39	7.80	2	0.40
石川県	8	0.80	2	0.20	1	0.10	16	1.60	8	1.60	2	0.40	-	-
福井県	1	0.20	4	0.80	-	-	4	0.80	16	2.67	12	2.00	-	-
山梨県	7	1.17	-	-	1	0.17	2	0.33	7	0.70	7	0.70	3	0.30
長野県	16	1.00	1	0.06	1	0.06	12	0.75	15	1.36	6	0.55	-	-
岐阜県	13	0.87	6	0.40	3	0.20	28	1.87	11	2.20	-	-	-	-
静岡県	22	0.73	6	0.20	3	0.10	19	0.63	33	3.30	5	0.50	-	-
愛知県	101	1.98	20	0.39	36	0.71	109	2.14	43	3.31	-	-	-	-
三重県	6	0.40	2	0.13	-	-	10	0.67	18	2.00	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	1	0.11	2	0.22	8	0.89	33	4.71	-	-	-	-
京都府	5	0.22	-	-	-	-	7	0.30	5	0.71	-	-	-	-
大阪府	108	1.80	60	1.00	40	0.67	124	2.07	34	2.43	1	0.07	1	0.07
兵庫県	40	0.85	8	0.17	20	0.43	35	0.74	15	1.07	3	0.21	-	-
奈良県	10	1.11	3	0.33	1	0.11	14	1.56	22	3.67	3	0.50	1	0.17
和歌山県	8	1.00	5	0.63	2	0.25	2	0.25	18	1.64	3	0.27	3	0.27
鳥取県	2	0.40	1	0.20	1	0.20	5	1.00	6	1.20	2	0.40	-	-
島根県	9	1.50	-	-	-	-	4	0.67	38	4.75	7	0.88	-	-
岡山県	25	1.47	2	0.12	10	0.59	19	1.12	8	1.60	-	-	2	0.40
広島県	15	0.56	5	0.19	4	0.15	14	0.52	74	3.52	33	1.57	2	0.10
山口県	10	0.83	2	0.17	2	0.17	7	0.58	48	5.33	11	1.22	1	0.11
徳島県	9	1.50	4	0.67	3	0.50	1	0.17	3	0.43	-	-	-	-
香川県	8	1.14	5	0.71	8	1.14	8	1.14	9	2.25	-	-	-	-
愛媛県	7	0.64	2	0.18	3	0.27	9	0.82	19	3.17	-	-	1	0.17
高知県	2	0.33	-	-	-	-	1	0.17	36	4.50	20	2.50	1	0.13
福岡県	99	2.54	19	0.49	9	0.23	100	2.56	12	0.75	7	0.44	-	-
佐賀県	11	1.57	-	-	-	-	7	1.00	18	3.00	3	0.50	2	0.33
長崎県	9	0.90	1	0.10	1	0.10	7	0.70	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	19	1.36	2	0.14	1	0.07	13	0.93	37	2.47	1	0.07	1	0.07
大分県	6	0.60	1	0.10	3	0.30	11	1.10	28	2.80	11	1.10	-	-
宮崎県	21	1.91	-	-	2	0.18	20	1.82	19	2.71	4	0.57	-	-
鹿児島県	27	1.69	6	0.38	2	0.13	15	0.94	12	1.00	1	0.08	-	-
沖縄県	14	1.17	-	-	2	0.17	8	0.67	9	1.29	3	0.43	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年11月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1623	1.75	477	0.52	247	0.27	215	0.23	639	1.36	307	0.65	19	0.04
北海道	136	3.32	45	1.10	9	0.22	20	0.49	13	0.54	11	0.46	-	-
青森県	31	2.38	4	0.31	3	0.23	3	0.23	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	7	0.54	1	0.08	3	0.23	31	1.55	9	0.45	-	-
宮城県	36	2.00	12	0.67	11	0.61	3	0.17	13	1.08	9	0.75	-	-
秋田県	14	1.00	3	0.21	4	0.29	-	-	12	1.71	7	1.00	-	-
山形県	13	1.30	2	0.20	-	-	-	-	17	1.70	5	0.50	-	-
福島県	29	1.81	8	0.50	13	0.81	6	0.38	4	0.57	6	0.86	-	-
茨城県	56	2.67	5	0.24	3	0.14	9	0.43	6	0.60	-	-	1	0.10
栃木県	14	0.88	4	0.25	3	0.19	1	0.06	19	2.71	-	-	-	-
群馬県	53	2.12	11	0.44	8	0.32	9	0.36	10	1.00	7	0.70	-	-
埼玉県	136	2.67	25	0.49	17	0.33	5	0.10	6	0.67	2	0.22	-	-
千葉県	69	1.77	18	0.46	5	0.13	4	0.10	18	2.00	56	6.22	-	-
東京都	92	2.24	37	0.90	14	0.34	19	0.46	43	1.72	25	1.00	1	0.04
神奈川県	38	0.63	10	0.17	11	0.18	3	0.05	6	0.55	19	1.73	-	-
新潟県	12	0.60	3	0.15	3	0.15	1	0.05	19	1.46	5	0.38	-	-
富山県	1	0.14	2	0.29	2	0.29	-	-	23	4.60	18	3.60	1	0.20
石川県	8	0.80	10	1.00	-	-	1	0.10	5	1.00	-	-	-	-
福井県	8	1.60	1	0.20	-	-	-	-	5	0.83	14	2.33	1	0.17
山梨県	6	1.00	4	0.67	1	0.17	1	0.17	7	0.70	4	0.40	3	0.30
長野県	22	1.38	3	0.19	2	0.13	3	0.19	10	0.91	1	0.09	-	-
岐阜県	12	0.80	1	0.07	5	0.33	-	-	6	1.20	-	-	-	-
静岡県	42	1.40	11	0.37	4	0.13	1	0.03	31	3.10	11	1.10	-	-
愛知県	55	1.08	13	0.25	14	0.27	8	0.16	28	2.15	-	-	-	-
三重県	10	0.67	2	0.13	-	-	-	-	16	1.78	1	0.11	1	0.11
滋賀県	5	0.56	1	0.11	2	0.22	-	-	12	1.71	-	-	-	-
京都府	55	2.39	14	0.61	2	0.09	5	0.22	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	180	3.00	91	1.52	37	0.62	37	0.62	12	0.86	2	0.14	-	-
兵庫県	64	1.36	16	0.34	2	0.04	9	0.19	10	0.71	-	-	-	-
奈良県	10	1.11	2	0.22	5	0.56	1	0.11	12	2.00	5	0.83	2	0.33
和歌山県	7	0.88	3	0.38	-	-	-	-	18	1.64	3	0.27	-	-
鳥取県	10	2.00	-	-	-	-	1	0.20	6	1.20	-	-	-	-
島根県	7	1.17	-	-	1	0.17	-	-	14	1.75	3	0.38	-	-
岡山県	48	2.82	10	0.59	16	0.94	5	0.29	6	1.20	1	0.20	-	-
広島県	27	1.00	7	0.26	11	0.41	-	-	50	2.38	29	1.38	6	0.29
山口県	25	2.08	6	0.50	2	0.17	5	0.42	25	2.78	10	1.11	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	7	1.00	-	-	-	-
香川県	10	1.43	5	0.71	1	0.14	-	-	7	1.75	1	0.25	-	-
愛媛県	16	1.45	-	-	4	0.36	2	0.18	6	1.00	-	-	-	-
高知県	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	23	2.88	10	1.25	-	-
福岡県	92	2.36	32	0.82	16	0.41	12	0.31	4	0.25	5	0.31	-	-
佐賀県	4	0.57	3	0.43	1	0.14	3	0.43	11	1.83	7	1.17	-	-
長崎県	14	1.40	7	0.70	3	0.30	6	0.60	6	0.50	-	-	-	-
熊本県	51	3.64	13	0.93	3	0.21	9	0.64	16	1.07	1	0.07	1	0.07
大分県	3	0.30	10	1.00	3	0.30	4	0.40	8	0.80	12	1.20	1	0.10
宮崎県	15	1.36	6	0.55	1	0.09	1	0.09	11	1.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	29	1.81	6	0.38	3	0.19	10	0.63	14	1.17	-	-	1	0.08
沖縄県	32	2.67	3	0.25	1	0.08	5	0.42	9	1.29	4	0.57	-	-

注)12月22日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年11月

	結核
	報告数
総数	2322
北海道	65
青森県	36
岩手県	18
宮城県	31
秋田県	21
山形県	11
福島県	26
茨城県	37
栃木県	34
群馬県	13
埼玉県	124
千葉県	104
東京都	304
神奈川県	148
新潟県	27
富山県	14
石川県	27
福井県	14
山梨県	11
長野県	21
岐阜県	48
静岡県	72
愛知県	142
三重県	34
滋賀県	36
京都府	53
大阪府	256
兵庫県	106
奈良県	26
和歌山県	13
鳥取県	8
島根県	12
岡山県	30
広島県	36
山口県	28
徳島県	12
香川県	11
愛媛県	25
高知県	11
福岡県	119
佐賀県	15
長崎県	31
熊本県	22
大分県	14
宮崎県	17
鹿児島県	32
沖縄県	27



50週のデータ

注)表中の報告数は12月16日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年50週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79	13	557	-	64	3	82	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17	-	2	-	3	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	1	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	10	-	1	-	1	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	29	-	3	-	4	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	39	-	4	-	6	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	4	132	-	17	-	15	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	5	-	4	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10	-	2	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9	-	-	1	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	23	-	6	1	10	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	2	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	51	-	3	-	9	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	24	-	5	1	4	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	3	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	12	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	2	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノкокクス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	23	3596	7	549	-	24	-	-	-	38	-	-	2	282
北海道	-	-	-	-	-	68	-	13	-	23	-	-	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	152	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	4	57	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	84	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	23	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	38	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	2	89	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-	78	2	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	1	134	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	-	-	-	-	271	4	133	-	-	-	-	-	3	-	-	-	56
神奈川県	-	-	-	-	-	92	1	28	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
新潟県	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	22	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	173	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	2	43	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長野県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	1	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	65	-	19	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	160	-	42	-	-	-	-	-	2	-	-	1	7
三重県	-	-	-	-	-	76	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	21	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	1	65	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
大阪府	-	-	-	-	4	249	-	65	-	-	-	-	-	6	-	-	-	30
兵庫県	-	-	-	-	-	161	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
奈良県	-	-	-	-	-	55	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	1	19	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	1	188	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
広島県	-	-	-	-	1	92	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	1	53	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	63	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	97	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1	182	-	20	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	71	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	86	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	1	46	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	-	-	91	1	158	-	52	11	1065	-	6	-	82	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	7	-	2	-	11	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	4	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	9	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	28	-	5	-	1	1	39	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	54	-	5	-	2	1	55	-	1	-	13	-	-
東京都	-	1	-	-	-	8	-	18	-	6	3	388	-	1	-	17	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	1	62	-	1	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	36	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	30	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	3	-	3	1	67	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	21	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	5	2	124	-	1	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	4	-	24	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	17	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	22	-	9	-	-	17	250	-	44	1	67	-	5	8	487	2	95
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	9	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	16	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	8	-	1	-	4	-	-	-	12	-	4
東京都	-	7	-	3	-	-	1	7	-	27	-	-	-	-	1	60	-	2
神奈川県	-	3	-	1	-	-	2	16	-	1	-	-	-	-	-	15	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	4	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	13	-	4
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	34	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	14	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	54	1	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	15	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	1	-	4
岡山県	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	12	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	2	10	-	1	-	-	-	1	-	9	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	-	1	13	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	13	-	-	-	9	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	2	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	2	
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	1	1	31	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	1	22	-	-	-	3	-	-	-	5	-	3
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	2	38	-	-	-	11	-	-	3	14	1	6
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	1	71	-	4	2	149
北海道	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	8
秋田県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-	-	18
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	9
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	13
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	9
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	31	-	-	3	133	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	17	-	151	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年50週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1132	0.24	816	0.27	4804	1.58	36975	12.14	5613	1.84	2039	0.67	558	0.18	1981	0.65	47	0.02
北海道	2	0.01	155	1.08	394	2.76	794	5.55	335	2.34	22	0.15	27	0.19	82	0.57	1	0.01
青森県	20	0.31	1	0.02	67	1.60	227	5.40	68	1.62	46	1.10	4	0.10	19	0.45	-	-
岩手県	2	0.03	7	0.19	56	1.56	229	6.36	97	2.69	6	0.17	17	0.47	14	0.39	1	0.03
宮城県	202	2.22	10	0.17	124	2.10	471	7.98	202	3.42	74	1.25	34	0.58	43	0.73	-	-
秋田県	3	0.05	17	0.49	57	1.63	172	4.91	76	2.17	6	0.17	3	0.09	12	0.34	-	-
山形県	-	-	12	0.40	108	3.60	515	17.17	90	3.00	21	0.70	13	0.43	31	1.03	-	-
福島県	11	0.14	15	0.31	53	1.10	507	10.56	117	2.44	62	1.29	23	0.48	40	0.83	2	0.04
茨城県	3	0.03	14	0.19	96	1.30	544	7.35	100	1.35	20	0.27	5	0.07	37	0.50	-	-
栃木県	2	0.03	7	0.15	40	0.87	501	10.89	68	1.48	10	0.22	10	0.22	21	0.46	6	0.13
群馬県	139	1.39	10	0.16	101	1.63	543	8.76	106	1.71	67	1.08	6	0.10	35	0.56	-	-
埼玉県	39	0.15	52	0.32	207	1.29	3137	19.48	328	2.04	75	0.47	35	0.22	112	0.70	2	0.01
千葉県	139	0.65	28	0.21	251	1.87	1668	12.45	281	2.10	155	1.16	20	0.15	79	0.59	1	0.01
東京都	68	0.38	36	0.25	123	0.87	2008	14.14	184	1.30	104	0.73	28	0.20	55	0.39	-	-
神奈川県	29	0.09	53	0.26	197	0.96	2574	12.50	360	1.75	78	0.38	47	0.23	169	0.82	1	0.00
新潟県	-	-	30	0.50	103	1.72	1051	17.52	132	2.20	56	0.93	10	0.17	44	0.73	-	-
富山県	-	-	17	0.59	76	2.62	356	12.28	55	1.90	26	0.90	8	0.28	19	0.66	-	-
石川県	2	0.04	17	0.59	51	1.76	219	7.55	61	2.10	60	2.07	14	0.48	10	0.34	-	-
福井県	7	0.22	11	0.50	35	1.59	292	13.27	56	2.55	34	1.55	3	0.14	12	0.55	2	0.09
山梨県	1	0.02	2	0.08	28	1.12	254	10.16	31	1.24	26	1.04	9	0.36	8	0.32	-	-
長野県	7	0.08	5	0.09	134	2.44	593	10.78	105	1.91	32	0.58	4	0.07	33	0.60	2	0.04
岐阜県	63	0.75	7	0.13	20	0.38	329	6.21	105	1.98	5	0.09	2	0.04	25	0.47	2	0.04
静岡県	20	0.15	10	0.12	119	1.38	1457	16.94	101	1.17	43	0.50	12	0.14	54	0.63	1	0.01
愛知県	68	0.35	29	0.16	283	1.55	2533	13.92	216	1.19	71	0.39	13	0.07	98	0.54	-	-
三重県	-	-	19	0.42	82	1.82	552	12.27	114	2.53	41	0.91	8	0.18	45	1.00	-	-
滋賀県	20	0.39	-	-	12	0.36	170	5.15	98	2.97	31	0.94	1	0.03	25	0.76	-	-
京都府	20	0.17	1	0.01	38	0.50	733	9.64	79	1.04	66	0.87	6	0.08	50	0.66	1	0.01
大阪府	43	0.15	24	0.12	249	1.28	1993	10.22	287	1.47	89	0.46	23	0.12	112	0.57	4	0.02
兵庫県	34	0.17	27	0.21	191	1.49	1850	14.45	164	1.28	37	0.29	32	0.25	81	0.63	5	0.04
奈良県	1	0.04	5	0.14	46	1.31	381	10.89	24	0.69	16	0.46	-	-	22	0.63	-	-
和歌山県	3	0.06	1	0.03	40	1.29	395	12.74	118	3.81	58	1.87	1	0.03	20	0.65	1	0.03
鳥取県	4	0.14	4	0.21	39	2.05	276	14.53	30	1.58	34	1.79	-	-	19	1.00	-	-
島根県	1	0.03	12	0.52	29	1.26	121	5.26	37	1.61	41	1.78	-	-	23	1.00	1	0.04
岡山県	131	1.56	3	0.06	78	1.44	523	9.69	92	1.70	10	0.19	14	0.26	26	0.48	3	0.06
広島県	5	0.04	22	0.29	70	0.93	956	12.75	121	1.61	27	0.36	7	0.09	65	0.87	4	0.05
山口県	6	0.09	36	0.73	101	2.06	568	11.59	90	1.84	26	0.53	12	0.24	45	0.92	-	-
徳島県	1	0.03	8	0.35	22	0.96	185	8.04	27	1.17	4	0.17	3	0.13	13	0.57	-	-
香川県	1	0.02	4	0.13	53	1.66	168	5.25	64	2.00	99	3.09	5	0.16	24	0.75	-	-
愛媛県	3	0.05	3	0.08	93	2.38	681	17.46	75	1.92	8	0.21	2	0.05	41	1.05	-	-
高知県	2	0.04	7	0.23	95	3.06	179	5.77	32	1.03	14	0.45	1	0.03	19	0.61	-	-
福岡県	6	0.03	20	0.17	329	2.74	2811	23.43	304	2.53	74	0.62	40	0.33	106	0.88	5	0.04
佐賀県	3	0.08	28	1.22	37	1.61	262	11.39	37	1.61	7	0.30	12	0.52	26	1.13	-	-
長崎県	8	0.11	10	0.23	83	1.89	384	8.73	37	0.84	29	0.66	2	0.05	27	0.61	-	-
熊本県	2	0.02	16	0.33	65	1.33	854	17.43	82	1.67	37	0.76	9	0.18	46	0.94	-	-
大分県	1	0.02	3	0.08	122	3.39	762	21.17	105	2.92	9	0.25	15	0.42	21	0.58	-	-
宮崎県	4	0.07	12	0.32	117	3.16	356	9.62	133	3.59	75	2.03	2	0.05	39	1.05	-	-
鹿児島県	2	0.02	4	0.07	64	1.14	768	13.71	123	2.20	96	1.71	16	0.29	25	0.45	2	0.04
沖縄県	4	0.07	2	0.06	26	0.76	73	2.15	66	1.94	12	0.35	-	-	9	0.26	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年50週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	17	0.01	197	0.06	9	0.00	3549	1.17	10	0.02	426	0.67	10	0.02	11	0.02	213	0.45
北海道	-	-	2	0.01	-	-	75	0.52	1	0.03	29	1.00	1	0.04	-	-	6	0.26
青森県	-	-	3	0.07	-	-	15	0.36	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	5	0.14	-	-	31	0.86	-	-	16	1.33	-	-	-	-	7	0.35
宮城県	-	-	5	0.08	-	-	23	0.39	1	0.09	2	0.18	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	3	0.09	-	-	3	0.09	-	-	4	0.57	-	-	-	-	4	0.57
山形県	-	-	2	0.07	-	-	55	1.83	-	-	4	0.50	-	-	1	0.10	10	1.00
福島県	-	-	16	0.33	1	0.02	38	0.79	-	-	9	0.75	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	2	0.03	1	0.01	-	-	33	0.45	-	-	23	1.44	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	-	-	2	0.04	-	-	18	0.39	-	-	13	1.08	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	1	0.02	7	0.11	-	-	57	0.92	-	-	24	1.71	-	-	-	-	7	0.70
埼玉県	1	0.01	11	0.07	-	-	271	1.68	1	0.03	29	0.78	-	-	-	-	16	1.78
千葉県	1	0.01	2	0.01	1	0.01	268	2.00	-	-	26	0.74	-	-	-	-	10	1.11
東京都	1	0.01	11	0.08	-	-	132	0.93	-	-	6	0.43	-	-	1	0.04	3	0.12
神奈川県	2	0.01	6	0.03	1	0.00	218	1.06	-	-	26	0.62	1	0.08	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	14	0.23	-	-	36	0.60	-	-	3	0.33	-	-	-	-	18	1.50
富山県	-	-	6	0.21	-	-	40	1.38	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
石川県	-	-	1	0.03	-	-	10	0.34	-	-	7	1.00	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	3	0.14	-	-	152	6.91	-	-	-	-	-	-	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	9	0.36	-	-	3	1.00	-	-	-	-	8	0.80
長野県	-	-	1	0.02	-	-	40	0.73	1	0.09	3	0.27	-	-	1	0.09	16	1.45
岐阜県	1	0.02	1	0.02	-	-	146	2.75	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	1	0.01	94	1.09	-	-	5	0.25	-	-	1	0.10	6	0.60
愛知県	-	-	6	0.03	-	-	225	1.24	-	-	10	0.29	1	0.08	-	-	15	1.15
三重県	-	-	1	0.02	-	-	36	0.80	-	-	5	0.42	1	0.11	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	-	-	-	-	49	1.48	-	-	4	0.57	-	-	2	0.29	1	0.14
京都府	-	-	1	0.01	-	-	57	0.75	-	-	5	0.28	1	0.17	-	-	4	0.67
大阪府	2	0.01	13	0.07	2	0.01	281	1.44	2	0.04	10	0.20	1	0.07	-	-	2	0.13
兵庫県	1	0.01	2	0.02	1	0.01	102	0.80	1	0.03	22	0.63	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	3	0.09	-	-	38	1.09	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	40	1.29	-	-	3	0.75	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	2	0.11	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	7	0.30	-	-	3	0.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	3	0.06	-	-	39	0.72	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.40
広島県	-	-	11	0.15	-	-	87	1.16	-	-	19	0.95	-	-	1	0.05	11	0.58
山口県	-	-	6	0.12	-	-	55	1.12	1	0.11	9	1.00	1	0.11	-	-	15	1.67
徳島県	-	-	-	-	1	0.04	6	0.26	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.14
香川県	-	-	4	0.13	-	-	52	1.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	40	1.03	-	-	9	1.29	1	0.17	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	3	0.10	-	-	19	0.61	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	5	0.56
福岡県	2	0.02	8	0.07	-	-	279	2.33	-	-	19	0.73	-	-	1	0.07	2	0.13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	92	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	1	0.02	32	0.73	-	-	9	1.13	-	-	-	-	4	0.33
熊本県	-	-	2	0.04	-	-	130	2.65	-	-	16	1.78	1	0.07	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	2	0.06	-	-	24	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	16	0.43	-	-	55	1.49	-	-	5	1.25	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	29	0.52	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	-	-	-	-	13	0.38	1	0.10	23	2.30	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年50週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	8	0.02	-	-	855
北海道	-	-	-	-	50
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	21
秋田県	-	-	-	-	33
山形県	2	0.20	-	-	20
福島県	-	-	-	-	84
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	1	0.14	-	-	14
群馬県	-	-	-	-	17
埼玉県	-	-	-	-	20
千葉県	2	0.22	-	-	34
東京都	-	-	-	-	21
神奈川県	-	-	-	-	52
新潟県	-	-	-	-	6
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	14
福井県	-	-	-	-	22
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	29
愛知県	-	-	-	-	55
三重県	-	-	-	-	15
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	9
大阪府	-	-	-	-	48
兵庫県	-	-	-	-	12
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	16
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	83
山口県	-	-	-	-	32
徳島県	-	-	-	-	34
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	49
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	1	0.07	-	-	18
大分県	-	-	-	-	11
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第50号 平成16年12月27日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。